

2022  
No.81

伯友

Compassion

4C's

Competence

Conscience

Commitment



# 目次

□巻頭言	濱田有司 (33)	1
□会務報告		2
2022年度総会結果報告		
第1号議案 2021年度事業報告		2
第2号議案 2021年度収支決算報告		3
第3号議案 2022年度事業計画		4
第4号議案 2022年度収支予算		5
伯友懇親会報告		
神戸	石井宏武 (54)	6
東京	安富稔晃 (54)	7
□同期会だより		9
13期、16期、31期、32期、48期		
□支部だより		
シンガポール支部 活動報告	吉田泰晴 (58)	11
ニューヨーク支部 活動報告	佐野慎介 (52)	12
□2023年度六甲伯友会 総会・懇親会の案内	55期実行委員会	14
□天在人語		
ディアス神父さんのこと	辰巳貞一 (26)	13
ディアス先生のこと	近藤 健 (32)	13
ディアス先生の思い出	野田晴清 (38)	16
ディアス先生を偲んで	渡辺喜弘 (44)	16
ディアス先生の思い出	藤枝 誠 (50)	17
保安係 藤田栄一氏のこと	近藤 健 (32)	18
□寄稿・紀行・聴こう		
フリン先生祈念館への誘い	藤井則雄 (29)	18
「万年筆のススメ」	森谷健一 (42)	19
「父と過ごした最後の4ヶ月間に感じた3つのこと」	松下治正 (42)	20
□クラブOB会だより		
山岳部OB会報告	佐藤俊介 (34)	22
音楽部OB会報告	勝村亮太 (77)	22
□出版案内・本紹介		
『高みをめざして』	～六甲精神の源をさぐる～	石井宏武 (54) 23
『えらべ、いのちを』(申命記 上)	～焚き火を囲んで聴く神の物語・説教篇3～	24
『聖化の再発見』上下		大頭真一 (36) 24
『がんになった緩和ケア医が語る「残り2年」の生き方、考え方』		水原浩志 (52) 25
『海底撈 知られざる中国巨大外食企業の素顔』		水原浩志 (52) 25
『御船印でめぐる全国の魅力的な船旅地球の歩き方 御朱印シリーズ』		水原浩志 (52) 26
『最期の声 ドキュメント災害関連死』		水原浩志 (52) 27
『頭のいい会社はなぜ、企業型確定拠出年金をはじめているのか』		27
□編集後記		28
□会員の皆様へ		表3

・HAKUYUKAI・HAKUYUKAI・HAKUYUKAI・  
 巻 頭 言  
 ・HAKUYUKAI・HAKUYUKAI・HAKUYUKAI・



六甲伯友会副会長

33期 濱田 有司

伯友会員の皆さま、こんにちは。2年前の役員改選におきまして副会長を拝命いたしました33期の濱田有司です。どうぞよろしくお願いいたします。

私の伯友会との関りは、六甲卒業時まで遡ります。当時は生徒の互選で同窓会幹事を決めたりすることもなく、卒業前に先生から学年幹事に指名されました。指名はされても使命感が生まれるようなことはなく、幹事会が開かれる六甲教会の会館に年に一回伺って、同窓名簿の修正や学校の資料を配布してもらおう程度のことしかしていませんでした。

当時、伯友会の中心的な役割を担っておられた2期の卒業生でもある沖原先生に、さほど同窓会活動への意欲が湧かない旨を告げると「若い時は昔を振り返ることはしないもの。40歳くらいになってからだよ。」と慰めとも励ましとも言える言葉をかけていただいたことを思い出します。いま毎年の総会・懇親会を担当する期は概ね四十過ぎで、その機会に集まったことをきっかけに同期会が盛んになったという後日談をよく耳にしますが、先生のおっしゃったとおりだなあと、今さらのように感慨を覚えます。

私が伯友会に入った頃は、当然ながら、1期生の方でもまだ50歳、年齢差も三十程度で、全体としても、いろいろと活動を広げていこうとしている若い集団だったと思います。また大半の方々は、初代校長の武宮隼人先生の薫陶を受けた世代でした。

私は33期なので武宮先生を存じ上げません。(武宮先生が校長を退任されたのは1965年、その年に入学した28期生以降は2代目シュワイツェル校長の時代です。)学校でお見かけしたことも一、二度で直接接する機会もなく、“武宮イズム”と謂われても正直ピンと来ませんでした。そんな違いもあって、武宮先生の言行が折にふれ話題にあがる同窓会の雰囲気、先輩方の一体性を感じて、少々

羨ましく思いながら過ごしておりました。

その伯友会も来年には設立80年を迎えます。私が伯友会に入った頃とは逆に、今では大半の同窓生が武宮先生を知らない世代となりました。同窓生の数もいまや1万数千人に達し、国内外のいろいろな場で、いろいろな職業で活躍されています。伯友会の組織も、各地域支部が生まれるなど、ずいぶん大きくなり、武宮イズムを知る世代にせよ知らぬ世代にせよ、同窓生としての一体性が感じられるというような時代ではもはやないだろうとは思いますが。

そんな中であってこの春、前校長である30期の古泉肇さんが、武宮先生の教育を探求することで「六甲精神とは何か」あるいは「六甲らしさとは何か」を考えようという「高みをめざして～六甲精神の源をさぐる～」というご本を上梓されました。六甲の教育理念や武宮先生の事績を紹介するこの本の中で、古泉さんは、今のような時代だからこそ、六甲精神を皆さまと共に考えていきたいと呼びかけておられます。

80年にわたる年齢差の1万数千人にもおよぶ六甲卒業生の集まりが、一つ考えでまとめられるわけはありませんが、“同窓会”には“同”という字がついているように、十代のある時期に何かを同じうした人々の集まりであることも確かです。

その何かが六甲精神ということになりましょうか、、、?!  
 とはいえ、それは誰にとっても分かるような形でポイント示すことができるというものではなく、また過去を振り返れば誰にでも同じ姿で見えるというものでもないでしょう。

伯友会の活動が、その同じうする何かを考える場を提供できるようなものになることを願っております。またそういう活動であるよう工夫していきたいと思えます。とはいえ、そう大上段に振りかぶることなく、できる限り皆さまが参加しやすく楽しめるような同窓会を目指していきたいと考えております。

ここ2年間はコロナ禍によって同窓会活動も中止や縮小を余儀なくされましたが、回復の兆しも徐々に見えてきております。できるだけ早く元の姿に戻していけるよう努力してまいりますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

# 会 務 報 告

新型コロナウイルスの感染の影響で、2年続けて総会の会場開催が出来ませんでした。今年漸く開催する事が出来ました。森本総務委員長より各議案の説明がなされ、参加会員の承認を得ました。

## 第 1 号 議 案 2021 年度 事業 報告

### ● 2021 年度 末 総 会 員 数 お よ び 終 身 会 員 数

	総会員数	終身会費納入者数			年会費納入者数
		抹消者数	終身会員数		
2021 年度 末	11,399 人	7,056 人	457 人	6,599 人	81 人
		新規 193 人			延べ 101 人
2020 年度 末	11,287 人	6,863 人	412 人	6,451 人	113 人
		新規 199 人			延べ 194 人
増減	112 人	193 人	45 人	148 人	△ 32 人
		新規 △ 6 人			延べ △ 93 人

### ● 総務委員会

① 定時総会 コロナウイルス拡大の影響により、ホームページ上での審議とした。

(2021 年 4 月 24 日にオンラインによる報告を実施)

② 会議運営・資料作成・議事録作成

幹事会 年 4 回開催 2021 年 4/ 3(土) 7/10(土) 10/16(土)  
2022 年 1/15(土)

常任幹事会年 4 回開催 2021 年 6/26(土) 10/16(土) 12/ 3(金)  
2022 年 3/26(土)

上記日程にて幹事会、常任幹事会を開催(会場とオンラインの併用)

③ 会費の徴収

終身会費納入者 193 人(前年比 6 人減) 昨年 199 人  
年会費納入者 81 人(前年比 32 人減) 昨年 113 人

④ 本会計・伯友基金・伯友奨学基金・伯友チャレンジ基金の管理

伯友基金として、東ティモールのイエズス会校支援  
伯友奨学基金として、年間授業料の 2 名分 相当額を支出

### ● 財政検討特別委員会 (2021 年度開催なし)

① 財政状況のモニタリング

② 収支バランスの継続的検討

### ● 事業委員会

① 学校事業への協力

- ・ 伯友文庫の充実
- ・ 体育祭：運営スタッフの活動支援 (2021 年 6 月 23 日)
- ・ OB 課外講義：2021 年 6 月 25 日  
52 期関本剛氏 中 3 を対象に実施
- ・ 強歩会：成績優秀者へのメダル授与 (2022 年 2 月)
- ・ 卒業式：卒業生への記念マグカップ授与 (2022 年 3 月 5 日)

② 対外事業

- ・ 四校対抗サッカー大会：中止
- ・ イエズス会校同窓会連絡協議会：オンラインで実施 (2022 年 2 月 23 日)
- ・ 栄光学園同窓会関西支部総会に出席 (2021 年 11 月)
- ・ WUJA (世界イエズス会学校同窓会) 日本支部の立ち上げ検討、姉妹校同窓会と打ち合わせ (2021 年 5 月 8 日)

③ 伯友奨学基金運営

- ・ 基金の PR

④ 東ティモールへの支援

- ・ 募金の呼びかけ

⑤ 伯友会の歴史を記録する活動 (広報委員会との共同作業)

- ・ 六甲学院別館所蔵資料の整理

### ● 広報委員会

① 会誌「伯友」78 号 (春号)、「伯友」79 号 (秋号) 発刊

② ホームページ、メールの維持管理

- ・ ウェブサーバ (アマゾンウェブサービス)、ドメイン (hakuyu.jp) ネームサーバ、メールサーバ (Google)、SSL サーバの管理、更新
- ・ ホームページ随時更新
- ・ ツイッター随時配信
- ・ YouTube チャンネルの運用

③ 「伯友会活動のあらまし」79 期生に配布

### ● 会員委員会

① 総会懇親会実施

2021 年 4 月 24 日 (土) オンライン開催。約 220 名参加

## ②支部支援

関東支部、中部支部ともに懇親会は中止

## ③各期同窓会支援

いずれの期も中止

## ④伯友会ジュニア（50歳以下の会員対象）開催

2021年11月19日（金）15名参加

## ⑤79期の情報収集

## ⑥会員名簿の発行作業

## \*【参考】関東支部活動

## ①関東支部懇親会

2021年9月11日（土）オンライン開催。約80名参加

関東支部長が30期塩村氏から41期藤本氏へ交代

## ①第1回令和塾実施

2021年12月22日（火）に実施 18名参加

同日、忘年会を開催

## ●情報管理委員会

①事務局 IT 機器の管理

②常任幹事会・幹事会のリモート参加の実施

③ZOOMアカウントの貸し出し開始

## ●役員改選について

伯友会関東支部長交代に伴う役員改選について以下のとおり提案する。

副会長 退任 塩村 仁（30期）

新任 藤本欣伸（41期）

## 第2号議案 2021年度収支決算報告

## ●本会計

2021年4月1日～2022年3月31日

(単位:円)

	決算額	予算額	差異
<b>収入の部</b>			
<b>①会費収入</b>	<b>8,913,000</b>	<b>7,950,000</b>	<b>963,000</b>
・年会費	303,000	300,000	3,000
・終身会費当期納入額(193人) ※1	8,610,000	7,650,000	960,000
<b>②入会金</b>	<b>48,000</b>	<b>0</b>	<b>48,000</b>
・新入会員入会金(6人)	48,000	0	48,000
<b>③雑収入</b>	<b>54,212</b>	<b>2,000</b>	<b>52,212</b>
・預金利息	62	500	△ 438
・雑収入	4,150	1,500	2,650
・寄付収入	50,000	0	50,000
・預り金	0	0	0
<b>④名簿・広報誌制作協力費(広告収入等)</b>	<b>155,500</b>	<b>230,000</b>	<b>△ 74,500</b>
・名簿広告収入	0	0	0
・名簿販売収入	10,500	140,000	△ 129,500
・広報誌広告収入	145,000	90,000	55,000
<b>⑤繰越金からの特別繰入金</b>	<b>0</b>	<b>873,000</b>	<b>△ 873,000</b>
<b>当期収入合計</b>	<b>9,170,712</b>	<b>9,055,000</b>	<b>115,712</b>

※1 終身会費当期納入者；新卒生等166人、61～78期 1人、51～60期10人、41～50期 4人、31～40期 5人、21～30期 6人、1～20期 1人

## 財産目録

2022年3月31日現在

(単位:円)

	当年度	前年度	増減
<b>合計</b>	<b>52,376,283</b>	<b>50,215,403</b>	<b>2,160,880</b>
・現金	155,849	119,388	36,461
・郵便局 (会費納入受入口座)	24,753,946	23,628,089	1,125,857
・普通預金/六甲伯友会 (会費納入受入口座)	7,770,000	7,731,000	39,000
・普通預金/決済用普通預金	18,794,883	17,063,883	1,731,000
・普通預金/伯友会3	901,605	1,673,043	△ 771,438

(単位:円)

	決算額	予算額	差異
<b>支出の部</b>			
<b>①一般管理費</b>	<b>3,101,618</b>	<b>3,926,000</b>	<b>△ 824,382</b>
・通信費	939,266	1,100,000	△ 160,734
・事務局員報酬	1,638,300	2,000,000	△ 361,700
・事務用品費	339,043	460,000	△ 120,957
・事務局警備費	105,600	106,000	△ 400
・慶弔費	1,529	30,000	△ 28,471
・交通費	0	150,000	△ 150,000
・プロバイダー使用料	77,880	80,000	△ 2,120
<b>②事業費</b>	<b>3,908,214</b>	<b>4,629,000</b>	<b>△ 720,786</b>
・ <b>総務委員会</b>	<b>133,110</b>	<b>300,000</b>	<b>△ 166,890</b>
・会費	133,110	300,000	△ 166,890
・ <b>事業委員会</b>	<b>806,900</b>	<b>533,000</b>	<b>273,900</b>
・学校事業協力費	21,600	120,000	△ 98,400
・記念品制作費	762,300	340,000	422,300
・対外事業費	0	43,000	△ 43,000
・伯友会の歴史を残す活動	23,000	30,000	△ 7,000
・ <b>広報委員会</b>	<b>2,260,761</b>	<b>2,305,000</b>	<b>△ 44,239</b>
・広報誌作成費	815,980	870,000	△ 54,020
・広報誌発送費	1,087,876	1,080,000	7,876
・インターネット維持費	304,435	300,000	4,435
・伯友会活動のあらし制作費	52,470	55,000	△ 2,530
・ <b>会員委員会</b>	<b>660,584</b>	<b>1,241,000</b>	<b>△ 580,416</b>
・調査費	0	10,000	△ 10,000
・名簿作成費	187,000	200,000	△ 13,000
・名簿発送費	5,200	21,000	△ 15,800
・会員交流事業費	118,384	500,000	△ 381,616
・同期会援助費	0	80,000	△ 80,000
・支部援助費	350,000	380,000	△ 30,000
・懇親会参加促進費	0	0	0
・伯友会ジュニア促進費	0	50,000	△ 50,000
・ <b>情報管理委員会</b>	<b>46,859</b>	<b>250,000</b>	<b>△ 203,141</b>
・システム保守費	46,859	250,000	△ 203,141
<b>③予備費</b>	<b>0</b>	<b>500,000</b>	<b>△ 500,000</b>
・予備費	0	500,000	△ 500,000
<b>当期支出合計</b>	<b>7,009,832</b>	<b>9,055,000</b>	<b>△ 2,045,168</b>
<b>④繰越金</b>	<b>2,160,880</b>	<b>0</b>	<b>2,160,880</b>

## 伯友基金口座在高

2022年3月31日現在  
(単位:円)

	金額
普通預金 三井住友/六甲	6,661,954
前年度繰越金	6,325,692
寄付収入	1,373,000
預金利息	62
六甲学院へ支払い	* 1,036,800

※東ティモール聖イグナチオ学院援助

## 伯友チャレンジ基金口座在高

2022年3月31日現在  
(単位:円)

	金額
普通預金 三井住友/六甲	1,000,020
前年度繰越金	1,000,002
寄付収入	0
預金利息	18
支払い	0

## 伯友奨学基金口座在高

2022年3月31日現在  
(単位:円)

	金額
普通預金 三井住友/六甲	2,203,477
前年度繰越金	1,195,459
寄付収入	1,108,000
預金利息	18
六甲学院へ支払い	100,000

## 第3号議案 2022年度事業計画

## ●総務委員会

- ①定時総会 2022年4月23日(土)  
於：神戸ポートピアホテル
- ②会議運営・資料作成・議事録作成  
幹事会 年4回開催 2022年4/9(土)7/9(土)10/22(土)  
2023年1/21(土)  
常任幹事会年4回開催 2022年6/25(土)10/1(土)12/2(金)  
2023年3/25(土)  
上記日程にて幹事会、常任幹事会を開催予定(会場・オンライン併用)
- ③会費の徴収
- ④本会計・伯友基金・伯友奨学基金・伯友チャレンジ基金の管理

## ●財政検討特別委員会(必要に応じて開催)

- ①財政状況のモニタリング
- ②収支バランスの継続的検討

## ●事業委員会

- ①学校事業への協力
  - ・伯友文庫の充実
  - ・OB 課外講義の実施
  - ・体育祭：運営スタッフの活動支援、卒業生交流の場の検討など
  - ・強歩会：成績優秀者へのメダル・トロフィー授与

- ・卒業式：卒業生への記念マグカップ授与

- ②対外事業
  - ・イエズス会校同窓会連絡協議会
  - ・四校対抗サッカー大会
  - ・WUJA 日本支部立ち上げ検討
- ③伯友奨学基金運営明
  - ・基金のPR
- ④東ティモールへの支援
  - ・募金の呼びかけ
- ⑤伯友会の歴史を記録する活動(広報委員会との共同作業)
  - ・伯友会の過去の資料整理・DX化

## ●広報委員会

- ①会誌伯友80号(春号)、81号(秋号)発刊予定。
- ②ホームページ、メールの維持管理  
Webサーバ、ドメイン、メールサーバ、SSLの維持管理、更新、ツイッター更新
- ③「同窓会活動のあらまし」発行、80期生に配布(200部)
- ④クラシファイド広告
- ⑤伯友会の歴史を記録する活動(事業委員会との共同作業)
  - ・伯友会の過去の資料整理、保存

● 会員委員会

- ① 総会懇親会実施支援
- ② 支部活動支援
- ③ 各期同窓会支援
- ④ 伯友会ジュニア活動支援
- ⑤ 80期の情報収集
- ⑥ 会員名簿発行に向けての作業

● 情報管理委員会

- ① 事務局 IT 機器及び ZOOM アカウントの管理
- ② 幹事会等のインターネット会議のための設備充実
- ③ ZOOM アカウントの貸し出し

第4号議案 2022年度収支予算

● 本会計

2022年4月1日～2023年3月31日  
(単位:円)

	予算額(A)	2021年度		増減 (A)-(B)
		決算額	予算額(B)	
<b>収入の部</b>				
<b>① 会費収入</b>	<b>7,950,000</b>	<b>8,913,000</b>	<b>7,950,000</b>	<b>0</b>
・年会費	303,000	303,000	300,000	0
・終身会費当期納入額	7,650,000	8,610,000	7,650,000	0
<b>② 入金金</b>	<b>0</b>	<b>48,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
・新会員入会金	0	48,000	0	0
<b>③ 雑収入</b>	<b>2,000</b>	<b>54,212</b>	<b>2,000</b>	<b>0</b>
・預金利息	500	62	500	0
・雑収入	1,500	4,150	1,500	0
・寄付収入	0	50,000	0	0
・預り金	0	0	0	0
<b>④ 名簿・広報誌制作協力費(広告収入等)</b>	<b>185,000</b>	<b>155,500</b>	<b>230,000</b>	<b>△ 45,000</b>
・名簿広告収入	0	0	0	0
・名簿販売収入	35,000	10,500	140,000	△ 105,000
・広報誌広告収入	150,000	145,000	90,000	60,000
<b>⑤ 繰越金からの特別繰入金</b>	<b>285,000</b>	<b>0</b>	<b>873,000</b>	<b>△ 588,000</b>
<b>当期収入合計</b>	<b>8,422,000</b>	<b>9,170,712</b>	<b>9,055,000</b>	<b>△ 633,000</b>

(単位:円)

	予算額(A)	2021年度		増減 (A)-(B)
		決算額	予算額(B)	
<b>支出の部</b>				
<b>① 一般管理費</b>	<b>3,268,000</b>	<b>3,101,818</b>	<b>3,926,000</b>	<b>△ 660,000</b>
・通信費	400,000	939,266	1,100,000	△ 700,000
・事務局員報酬	2,000,000	1,638,300	2,000,000	0
・事務備品費	500,000	339,043	460,000	40,000
・事務局警備費	106,000	105,600	106,000	0
・慶弔費	30,000	1,529	30,000	0
・交通費	150,000	0	150,000	0
・プロバイダー使用料	80,000	77,880	80,000	0
<b>② 事業費</b>	<b>4,358,000</b>	<b>3,908,214</b>	<b>4,629,000</b>	<b>△ 273,000</b>
・ <b>総務委員会</b>	<b>300,000</b>	<b>133,110</b>	<b>300,000</b>	<b>0</b>
会議費	300,000	133,110	300,000	0
・ <b>事業委員会</b>	<b>240,000</b>	<b>806,900</b>	<b>533,000</b>	<b>△ 293,000</b>
学校事業協力費	120,000	21,600	120,000	0
記念品制作費	0	762,300	340,000	△ 340,000
対外事業費	100,000	0	43,000	57,000
伯友会の歴史を残す活動	20,000	23,000	30,000	△ 10,000
・ <b>広報委員会</b>	<b>2,305,000</b>	<b>2,260,761</b>	<b>2,305,000</b>	<b>0</b>
広報誌作成費	850,000	815,980	870,000	△ 20,000
広報誌発送費	1,100,000	1,087,876	1,080,000	20,000
インターネット維持費	300,000	304,435	300,000	0
伯友会活動のあらし制作費	55,000	52,470	55,000	0
・ <b>会員委員会</b>	<b>1,441,000</b>	<b>660,584</b>	<b>1,241,000</b>	<b>200,000</b>
調査費	10,000	0	10,000	0
名簿作成費	200,000	187,000	200,000	0
名簿発送費	21,000	5,200	21,000	0
会員交流事業費	500,000	118,384	500,000	0
同期会援助費	80,000	0	80,000	0
支部援助費	380,000	350,000	380,000	0
懇親会参加促進費	200,000	0	0	200,000
伯友会ジュニア促進費	50,000	0	50,000	0
・ <b>情報管理委員会</b>	<b>70,000</b>	<b>46,859</b>	<b>250,000</b>	<b>△ 180,000</b>
システム保守費	70,000	46,859	250,000	△ 180,000
<b>③ 予備費</b>	<b>800,000</b>	<b>0</b>	<b>500,000</b>	<b>300,000</b>
予備費	800,000	0	500,000	300,000
<b>当期支出合計</b>	<b>8,422,000</b>	<b>7,009,832</b>	<b>9,055,000</b>	<b>△ 633,000</b>
<b>④ 繰越金</b>	<b>0</b>	<b>2,160,880</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

掲載広告募集中

掲載広告募集中

## 伯友会懇親会報告

### 神戸

4月23日(土)、神戸ポートピアホテルにおいて、2022年度の伯友会懇親会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染状況を見ながら慎重に準備を進めて、3年ぶりに対面で開催することができました。コロナ禍の中でも現地で開催できたことは、大きな一歩だと考えております。当日ご出席いただいたご来賓ならびにOBの方々、そして準備段階で様々なご助言をいただきました諸先輩方や伯友会事務局の方々に、御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。残念ながらアルコールの提供は控えさせていただきましたが、参加者の方々からは、「現地開催だと思もしなかった恩師、先輩、後輩との再開があり良かった」等のお言葉をいただくことが出来ました。

懇親会の企画では、六甲精神にかかる著書『六甲学院誕生物語～高みをめざして～』を出版されました古泉先生に、著書にかかるご講演をしていただきました。著書の内容もそうですが、卒業して25年経つ私にとっても在校中には気付かなかった新鮮なお話ばかりでした。まだ読まれてない方は、是非、ご購入いただき読まれることをお勧めします。古泉先生とは、ご講演にかかる複数回の打合せをさせていただき、ご講演内容だけでなく、同時に行わせていただきました54期の企画内容についても54期らしい企画を実施できるよう多くのアドバイスをい



「平成塾」で司会をする  
32期近藤塾頭



「平成塾」で基調講演中の  
35期酒井補佐司教



総会冒頭挨拶する31期藤本会長

ただき、ご担当いただいた在校中に輪をかけてお世話になりました。お陰様で54期の企画として強歩会有馬街道コースを54期が実際に歩いた映像を紹介させていただき、当時参加された方々の強歩会に取り組みされた姿勢、気持ちを辿らせていただきました。

懇親会準備を通して、コロナ禍に対する諸先輩方から様々なご助言やサポートをいただきました。人によって新型コロナウイルス感染症に対する考え方の違いがありましたが、先輩、後輩、またその家族のためといった他人のためという共通する皆様のご配慮を感じることが出



総会で挨拶する  
高橋校長先生



懇親の乾杯のご発声は  
27期上智学園  
佐久間理事長



54期の面々



## 株式会社 MSC

〒559-0031 大阪市住之江区南港東2-2-2  
代表取締役社長 稲垣 潤 (54期)

TEL (06) 6612-8700, FAX (06) 6612-8702  
URL: <https://mscnet.jp/> E-mail: [inagaki@mscnet.jp](mailto:inagaki@mscnet.jp)

## ポートピアホテル

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-10-1  
代表取締役社長 中内 仁 (42期)

TEL (078) 302-1111, URL: <https://www.portopia.co.jp/>



参加者全員の集合写真

来ました。周知、調整関係では、コロナ禍でご担当する懇親会が中止となってしまいました52期の先輩方が残してくださった準備資料を読みあさり、抜け漏れなく準備を進めることができました。また、コロナ禍の影響で現地開催ではなくweb開催を完遂されました53期の先輩方からはweb配信のノウハウを伝授いただき、今回、現地開催と並行してweb配信を行うことが出来ました。今回の懇親会にご参加いただいた皆様をはじめ、お世話になった皆様に改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。至らぬ点多くありご不便をおかけすることもあったと思いますが、ご寛恕いただければ幸いです。懇親会準備を行わせていただきました54期は、コロナ禍で実際に集まることはできずリモートではありましたが、月1回打合せを重ね、企画内容検討を行ったり、強歩会有馬コースを辿ったり等楽しく準備を進めさせていただきました。25年ぶりにそれぞれが住む場所、環境が異なる中、お互いの近況も確認でき、真剣に議論を重ね、六甲学院で過ごした日々を思い出すことができました。このような自らのアイデンティティを確認できた貴重な機会を54期に与えていただいたことに感謝の気持ちしかありません。来年度以降もその時々状況に応じて形を変えていくことと思いますが、卒業生が六甲学院で過ごした時間を思い出し、共有できる機会を継続して設けていただけることを祈念しております。

懇親会準備打合せに参加いただいた55期の方々には、適宜貴重なアドバイスをいただき非常に助かりました。

ご担当される来年度の懇親会の盛会を祈っております。

最後に、忙しい中、事前の懇親会の準備、当日駆けつけて受付等を嫌な顔一つせず手伝ってくれ、自主的に考え動いてくれ足りない部分を埋め合わせてくれた同期には、頼もしく、誇りに思います。同期ながらも、その中で中学、高校時代を過ごせたことが幸せだったことを改めて感じる事が出来ました。これからも機会毎に集まって、つきない学生時代、近況の話をして楽しい時間を過ごせたらと思います。

(54期 石井宏武、写真：74期 柴原 誠)

## 伯友会懇親会報告 東京

7月2日(土)、ホテルグランドヒル市ヶ谷において、2022年度の伯友会関東支部懇親会を開催しました。今回の懇親会は、感染症対策を行った上での制約の多い会合となりましたが、そのような中であっても、上智学院佐久間理事長や姉妹校の同窓会の方々、高橋校長先生や藤本会長をはじめ、遠路はるばる関西在住の方々にもご参加いただくなど、約90名の皆様にお集まりいただきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での開催が出来ない状況が続いておりましたが、今回は、関西での懇親会に続き、幸いにも感染者数が減少傾向にある中で、3年ぶりに対面で開催することが出来ました。

これまで、実際に会ってお互いに顔を合わせて話をす

### 非鉄金属 **ワイメタル株式会社**

〒675-1122 兵庫県加古郡稲美町中村1216

代表取締役 **横山幹夫** (24期)  
**横山央祐** (49期)

TEL(079)492-7314, FAX(079)492-6599

### **六甲国際ゴルフ倶楽部**

〒651-1263 神戸市北区山田町西下字押部道15番地

常務取締役 **加藤 敏** (62期)

六甲国際ゴルフ倶楽部 TEL(078)581-2315 六甲国際パブリックコース TEL(078)583-0351  
URL: <http://rokkokokusai-kobe.jp/> E-mail: [s.kato@rokkokokusai-kobe.jp](mailto:s.kato@rokkokokusai-kobe.jp)

るということについて、当たり前のようにできていたこともあってか、それがコロナの影響により容易なものではなくなったことで、その有難さに改めて気付かされるとともに、そうした face to face でのコミュニケーションをより一層大切にしなければならないと、その重要性に改めて思いを致すようになりました。また、そうした当たり前が当たり前でなくなったとき、その不都合を補う工夫をして、これまでのやり方ではない形で乗り越えていくという、変化へのしなやかさを持つことの重要性もまた今回のコロナ下で学んだように思います。

私自身、東京での就職のために神戸を離れて以来、仕事の忙しさを言い訳として、「六甲」とのつながりは、同業の同期とのつながりと年末に同期有志が開催してくれる忘年会にたまに顔を出さしてもらおうといった程度で、とても薄いものでした。こうした中で、同期からの誘いもあって幹事の一人として関西・関東の懇親会の準備に参加することとなりました。当然、卒業以来二十数年ぶりといった同期とも、メールやオンライン会議などを通じてのコミュニケーションや準備を一緒にやってきたわけですが、お互いに二十数年も離れ、異なる環境の中で生きてきて、一度も話さえてもいないのに、何故か不思議と、ある種の懐かしさを伴って、お互いに自然体で心地よいコミュニケーションがとれたように思います。マネジメントとして、仕事におけるチーム内のコミュニケーションの難しさに頭を悩ます日々の中で、この体験はとても新鮮であり、やっぱり六甲の同期っていいよなあと、しみじみと感じました。

今回の懇親会では、同期で弁護士をしている在間君に

講演をお願いしましたが、そのテーマは「被災地・陸前高田市での弁護士活動と六甲精神」でした。「六甲精神」とは何か、卒業生の皆様一人ひとりその思うところは異なると思いますし、私自身うまく説明することはできないのですが、6年間一緒に学校生活を送ってきた中で、何か共通の価値観のようなものが自分たちの中に醸成されていたのだろうということを、上記の体験の中から改めて気付くことができました。

懇親会の幹事をする事となったとき、ちょっぴり負担感を感じてしまった私ですが、今回の活動の中でこのように気付くことができたことは私自身の大きな財産になったように思います。

最後にはなりますが、準備にあたっては、藤本支部長をはじめ、関東支部の皆様や、諸先輩方から様々なご助言やサポートを頂きました。また、コロナ下での開催という事情もあり、会員の皆様への周知対応を細かく行う必要がありましたが、その際には、幾度となく、松下広報委員長に、HP 等での周知対応などで大変お世話になりました。さらに、伯友会事務局の皆様にも、関東近郊在住の皆様への案内状の送付や、参加申込等のとりまとめなど、細々とした業務にもかかわらず、今回の懇親会開催のために多大なるサポートを頂きました。

今回の懇親会にご参加いただいた皆様をはじめ、お世話になった皆様に改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。至らぬ点も多くあったと思いますが、ご寛恕いただければ幸いです。

そして、54期で色々とお手伝いいただいた皆様、誠にありがとうございました。(文責：54期 安富稔晃)



懇親会集合写真

## 神戸サン司法書士事務所 神戸サン相続遺言相談所

〒650-0031 神戸市中央区東町116番地の2 オールドブライト4階  
司法書士 渡邊三郎 (49期)

TEL (078) 333-0088, FAX (078) 333-0038  
E-mail: watanabe@westkobe.com

## 森本謙税理士事務所

〒657-0051 神戸市灘区八幡町2丁目6-11 サン六甲201  
税理士 森本 謙 (49期)

TEL (078) 767-1601, FAX (078) 767-1602  
E-mail: k-morimoto@kcc.zaq.ne.jp

## 同期会だより

各期の同期会の報告をお待ちしております。その際、なるべく楽しい写真を添えていただければ幸いです。開催日及び場所を記載していただく以外は、特に字数制限はありません。また「伯友」は春と秋号2回発行しておりますが、「同期会だより」は秋号のみ掲載します。場合によっては開催日と掲載が1年以上隔たる場合も生じますが、ご了承ください。

「伯友」誌には、学年・開催日・場所・参加者・写真のみの掲載となります。ホームページの伯友会オフィシャルサイトには寄せられた報告の全文を随時掲載いたしております。

### 13期

開催日 2022年5月20日(金) 13:30~16:00

場所 東京有楽町「東天紅・国際フォーラム店」

参加者 余田夫妻、中村夫妻、新城、池本、藤田、嶋崎、八木下、山崎、山下和、三池、森田

コロナ問題で2020年、2021年と休止を余儀なくされました関東地区の懇親会を快晴の五月晴れのもと開催し、13名の会員が3年振りに集まりました。

2020年以降に逝去された13期生は、8名。関東地区では、今岡君(2021.8.5)が帰天。最近、交通事故で亡くなった稲富君など、同期の仲間への献杯でスタート。

代表幹事の浅沼君を口切りに、久しぶりに参加された、新城氏の楽しいテーブルスピーチや各自が、日々の生活の悩み、病魔との戦いなど、近況を報告。旧き良き、伯母野山時代を懐かしむ2時間余でした。

藤田君が『レオナルド藤田嗣治・覚書』なる大叔父「レオナルド・フジタ」に関する書籍(求龍堂、定価3,500円、251頁)を出席者全員に謹呈される。

要約版を添付。

可能であれば、来年度も集まりたいものと・・・散会する。



### 16期

(すまうら会)

開催日 2022年4月5日(火) 12:00~14:00

場所 須磨観光ハウス「花月」

参加者 相澤、上村(かみら)、近藤、杉野、杉本、芹田、千葉、速水、本條、屋代、安井、吉岡

関西の16期同期会は、春には西エリアの「すまうら会」と東エリアの「阪神会」それぞれで開催し、秋には合同で開催していたが、令和2年と3年は計画するもコロナ禍で開催を断念せざるを得なかった。令和4年になり、ワクチン3回接種後のコロナが比較的落ち着いた時期に十分なコロナ対策を前提に「すまうら会」と「阪神会」をそれぞれ開催することができた。実に、令和元年10月の卒業60周年記念同期会以来2年半ぶりの再会であった。

関東は毎年秋に開催しているが、令和2年と3年は開催できず、この秋には開催される計画である。

コロナ禍の中で、Eメールによる情報交換やZOOMによるオンライン情報交換会を試行したが、PC環境等の問題もあり、もう一つ盛り上がりせず、やはり生で会う同期会の素晴らしさが確認できた。



(阪神会)

日時: 令和4年5月26日(木) 12:00~14:00

場所: 神戸三宮 がんこ三宮寿司店

参加者: 相澤、神谷、北村史郎、北村豊、小林弘典、芹田、土居、中濱、春名、樋口、平松、目賀田、湯浅、吉岡、吉田弘而

「すまうら会」幹事の木藤君が令和2年10月にご逝去され、幹事不在のままであったが、上村君の音頭で、須磨観光ハウスの金井君の協力もあり、2年半ぶりに開催できた。阪神会の芹田君が6月に横浜に転居されるので、送別会を兼ねて特別参加頂いたが、一方、須磨観光ハウスの主である金井君が体調不良で途中退席となったのは残念であった。会の進行は音頭をとって頂いた上村君司会で全員近況報告を

## 弁護士法人 アーネスト法律事務所

〒651-0055 神戸市中央区熊内橋通7-1-13  
神戸芸術センター 2803号

弁護士 藤本久俊 (31期)

TEL(078)265-0810 FAX(078)977-8065

## 株式会社 ハヤシホレイ

〒661-0021 尼崎市名神町2丁目10-15

代表取締役 林 敬一 (31期)

TEL(06)6429-7661

行ったが、2年半ぶりの再開なのでどうしても熱が入り話が長くなりがちとなるなど、大いに盛り上がった。最後に今後のすまうら会幹事を屋代君にお願いすることが全会一致で決定された。



31 期

我々 31 期は、今年から同期の山歩き会（伯母野山 Club31）を発足致しました。月に 1 回の山登りを実施しています。

第 1 回は摩耶山掬星台に登り、母校六甲学院を山上から眺めました。



掬星台よりの眺め



六甲山山頂にて

4 月 28 日の第 3 回定例山登り会は、芦屋ロックガーデンから六甲山頂へと登りました。

参加者は 8 名 + 1 名（六甲ではないですが山の友人）

朝 8 時に阪急芦屋川駅出発～12 時六甲山頂～15：40 住吉下山～「うはらの湯」～17：00 会食。

最高のお天気の中、ゆっくりとしたペースで六甲山頂を目指し、その後は住吉川に沿って下山。

六甲山最高峰の標識をバックに写真を撮りました。凄く面白い写真です。じっくりとご覧ください

全員で、手で標識の文字を一部隠しています。(^^)

山と峰の二文字を隠すと「六甲 最高」となります。

写真では少し見えづらいのですが、931m と書かれていて、「9」と「m」を隠すと、なんと「31」です

この山歩きの際は、比較的ゆっくりとしたペースで歩きま

すので、初心者の方でも十分参加できます。健康のためにも一緒に山歩きしませんか。

参加希望の方はご連絡ください。（お世話役 北野）



ロックガーデン入口の高座の瀧にて



山登りの後の一杯は最高!!

32 期

9 月 23 日にゴルフコンペを開催しました。

小雨のち曇りの涼しい日で、22 人 + 奥様 3 人の 25 名と言う今までで最多の参加者の out 3 組、in 4 組となりました。

6100 ヤードの比較的平坦な優しいコースで、80 台 3 人、90 台 11 人と最近では結構いい成績となりました。

今回は、関東からの、瀬戸さん夫婦、堂免さんと、退職して関西に帰ってきた藤田さんが初参加でした。

優勝は、ハンディに恵まれた、多根さん、準優勝は、佐々木さん、3 位はベストグロスの、渡辺さんでした。次回は、1 月 8 日（日）明石ゴルフ倶楽部 9：10 スタートで 5 組です。

（32 期 山田 博 記）



# 井尻整形外科

JR 垂水駅北、レバンテ垂水 1 番館 2 階

院長 井尻慎一郎 (32 期)

TEL (078) 704-5055, FAX (078) 704-5066, URL. <http://ijiri.jp>



# やまだ整形外科クリニック

〒651-0065 神戸市中央区割塚通 7 丁目 2-1 コンフォート春日野 2 階

院長 山田 博 (32 期)

TEL (078) 262-6780, FAX (078) 262-6786

## 参加者

研修所：古泉（佐久間）先生

磯部・大久保隆・階戸・川上・永井・芳賀・畑中・  
蛭田・宮田・安田・山下・山本順・石崎Zoom：大下・大塚・五石・新谷健・西山・林田・日高・廣  
部・細見・升川・横山2021年12月30日（木）16時～18時、六甲学院生徒研修  
所と Zoom を使ったオンラインで同窓会を行いました。遡ること1年、2020年末に卒業30年を記念して同窓会を  
企画していましたが、新型コロナの影響で開催を断念せざる  
を得ませんでした。今年は日本鉄道乗り潰しをしている宮  
田がどうしてもみんなに伝えたいことがあるからやろうと  
音頭を取り、開催に至りました。当日、参加者全員からの近況報告のあと、宮田による鉄道  
乗り潰しに関するプレゼンと、芳賀によるけん玉とジャグリ  
ングのプレゼンがありました。宮田からは日本の鉄道の約  
97%を乗り潰していること、そのための無料アプリがあるこ  
と、残りわずかになっているものの災害などで不通のままに  
なっている区間があること、乗り潰しをする中で感じた「人  
生やりたいことを、自由にやったら良いよ！」ということ  
を伝えたいなど、パワポを用いたとても興味深いプレゼンで  
した。芳賀からはけん玉には段階的にいろんな技があること、  
それを順番に修得しながら最後は「レジェンド」という技ま  
で到達したこと、ジャグリングは玉二つから始めて三つ四つ  
と増やしていくこと、いろんな動かし方があることなど、と  
ても面白いプレゼンでした。Zoom 参加は、海外・関東・帰国隔離中のホテル・自家用車  
内からの参加があり、卒業以来という者もあり、今回は是非  
研修所で、という話で盛り上がりました。今年は飲食不可での研修所使用でしたが、ノンアルコール  
でも十分に楽しめた二時間でした。来年はお酒を交えなが  
ら集まりたいと思います。（文責：石崎）

## 支部だより

伯友会会員で構成される地域・職業・職場など支部活動され  
ている方々の記事を掲載致します。また、これから活動した  
い人が同志を募る場としてもご活用下さい。

## シンガポール支部活動報告

開催日 2022年1月31日

参加者 善野（50）、吉田（58）、奥谷（59）、山田（70）

2022年1月31日、シンガポールの新年である Chinese  
New Year（旧正月）の前祝いとして、4名にてランチをしま  
した。奥谷さんはシンガポールで長く生活されていますが、伯友  
会には約5年ぶりの参戦ということで、心機一転、「はじめ  
まして」で盛り上がりました。コロナ禍ではありますが、当地の伯友会は着実にメンバ  
ーを増やしております。新メンバーを絶賛募集中ですので、ご  
本人、若しくは、お知り合いがシンガポールにおられる方は、  
是非、幹事までご連絡下さい。

開催日 2022年3月11日

参加者 奥田・善野（50）、山中・吉田（58）、山田（70）

日本に帰国する山中くんの壮行会、また初参加の奥田さん  
の歓迎会を行いました。山中くんは前幹事として長らく当地の伯友会活動を盛り  
上げてくれましたが、この度、日本への帰国が決まりました。  
一方の奥田さんは数年前よりシンガポールにおられたもの  
の伯友会には今回が初参加、今後は年長者のアニキとして  
我々を引っ張ってくれるものと期待しております。今回は山中くんと最後の夜を飾るべく、シンガポールら  
しい川沿いのレストランで食事とお酒を楽しんだ後、シンガ

## 行政書士鈴木聡事務所

〒657-0068 神戸市灘区篠原北町3丁目15-1

代表行政書士 鈴木 聡 (48期)

TEL 080-9753-1753

E-mail: suzuki304gyo@yahoo.ne.jp



## 高 端 歯 科

〒657-0065 神戸市灘区宮山町3-3-29 六甲ヒルコート102号

高端泰伸 (33期)

TEL (078) 871-6545

ポール建国の父と言われるラッフルズ卿の銅像前で記念写真を撮りました。

コロナ禍ではありますが、当地の伯友会は着実にメンバーを増やしております。新メンバーを絶賛募集中ですので、ご本人、若しくは、お知り合いがシンガポールにおられる方は、是非、幹事までご連絡下さい。



開催日 2022年4月23日

参加者 善野・奥田(50)、岩崎(53)、戸部・佐伯(56)、吉田(58)、森山(65)、山田(70)

4月に日本に帰国する善野さんの壮行会、また4月に赴任した岩崎さんの歓迎会を行いました。

善野さんは当地の伯友会のアニキとして我々を引っ張ってくれていただけに、この度の帰国は寂しい限りですが、今後のご活躍を祈念しております。

一方で、岩崎さんが新加入ということで、今後も盛り上がりたてていきたいと思えます。

4月に入り、シンガポールのコロナ規制は大きく緩和され、今回は久しぶりに8名での開催。

先月の山中君壮行会に引き続き、シンガポールらしい場所ということで、マリーナベイサンズを望むバーで飲み語り、キレイな夜景の写真も撮れました。

当地の伯友会は、新メンバーを絶賛募集中ですので、ご本人、若しくは、お知り合いがシンガポールにおられる方は、是非、幹事までご連絡下さい。(幹事 55期 吉田泰晴 記)



開催日 2022年9月8日

参加者 青木(51)、岩崎(53)、佐伯(56期)、山本(57)、吉田(58)、奥谷(59)、森山(65)、山田(70)

青木さん、山田さんのお二人は今回が初参加で、昨年来シンガポールを離れる方が相次いだ中、新しいメンバーを迎えて皆で盛り上がったことは大変嬉しいことです。

シンガポールは本年4月以降 with コロナに大きく舵を切り、現在は地下鉄や病院等の限られた公共施設以外ではマスク不要と、日常生活はコロナ前に戻ったとも言えます。

当地の伯友会は、新メンバーを絶賛募集中ですので、ご本人、若しくは、お知り合いがシンガポールにおられる方は、是非、幹事までご連絡下さい。



(幹事 58期 吉田泰晴 記) 吉田連絡先 y.yasu3@gmail.com

### ニューヨーク支部活動報告

開催日 2022年9月8日

参加者 写真右から森(36)、瀧浦(39)、川合(36)、佐野(52) (敬称略)

思い返すと前回の懇親会はコロナ前の2020年2月15日に開催頂いた私(佐野)の歓迎会でしたので、今回は2年半ぶりの開催となりました。

今後は定期的に開催していければと思っており、次回は年末年始を予定しております。

現在ニューヨーク近郊におられる方、今後転勤や留学でお越しになる方、出張や旅行で来られる方、お気軽にご連絡を頂けると幸いです。(幹事 55期 佐野慎介 記)



## 足立優歯科・神戸デンタルドックセンター

〒658-0072 神戸市東灘区岡本1-3-33

院長 足立 優 (36期)

TEL (078) 411-0024, FAX (078) 411-0056

URL: <https://www.adachi-dental.jp> E-mail: [info@adachi-dental.jp](mailto:info@adachi-dental.jp)



## 宮野医療器株式会社

〒650-8677 神戸市中央区楠町5丁目4番8号

相談役 宮野 淳 (19期)

TEL (078) 371-2121, FAX (078) 371-2309, E-mail: [a.miyano@miyano.co.jp](mailto:a.miyano@miyano.co.jp)

URL: <http://miyano.co.jp/>

# 天 在 人 語

「てんざいじんご」と読む造語です。「天に在る人について語る」という意味です。亡くなられた恩師や先輩・同級生・後輩の思い出を綴った文章をご紹介します。

## ディアス神父さんのこと

1930年にスペインのグラナダ生まれ。17歳でイエズス会に入会して、1953年10月に来日。東京の上石神井のイエズス会の神学校を経て1960年3月に司祭叙階。1963年に六甲中学に赴任された。26期は中学1年の2学期から英語の授業を受けた。公教要理に熱心で26期は六甲入学以前からのカトリック信者は6人だったが、高校3年卒業時には56名のカトリック信者を数えることになった。6年間で26期の三分の一がディアス神父から洗礼を受けたことになる。1992年まで29年間六甲学院で英語を教えた。その後上石神井の黙想の家、長崎の黙想の家、上石神井修道院で2019年まで黙想指導をされて、その後ロヨラハウスに移られた。ロヨラハウスで静かな晩年を過ごされた。私は中学3年のクリスマスにディアス神父さんから洗礼を受けた。

ご冥福をお祈りします。

(26期 辰巳貞一 記)

## ディアス先生のこと



32期の卒業アルバムより

ディアス先生が、2022年10月10日帰天された。92歳であった。

ディアス先生は私達32期が六甲学院へ入学した中学1年の時から、高校3年で卒業する迄担任を務められた。公教要理もご担当され、6年間で30名程にカトリックの洗礼をお授けになった。私もその1人で、後に私は結婚の秘蹟も賜わった。

ディアス先生を一言で評せばとても外人だった。

色は白く、鼻はピンと尖って上を向き、映画俳優かと思う程の端正な顔立ちながら、私達が中1の時は未だ39歳だったと思うのだが、頭頂には殆んど髪の毛がなかった。怒ると顔が真赤になり、白人が赤人となった。風邪をひくとポケットから白いハンカチを出しはなを擽み、そのハンカチをポケットに突っ込む動作を繰り返していた。ティッシュが未

だ一般的には普及していない頃ではあるが、日本人には無い習慣だ。

ある日のエピソード。先生の日本での初めての赴任地は広島だったそうで、一軒の喫茶店に入り食事をすると、とても美味しかったので、給仕をしていたウエイトレスの女性に「結構です」と言う所を間違って「結婚です」と言ってしまった。「結婚してくれ」と言われたと勘違いした女性が赤い顔になり、事情が分かってからは私も赤面した、という話を聞かされた私達は「そんな阿保な」と笑ったが、「私が未だに髪の毛が有った頃の話だ」と今度は怒って赤い顔になった事があった。

「スペイン人は走った後で考える」というのはスペイン人の国民性を表わすアフォリズムがあるが、ディアス先生にはこんなエピソードがある。浅間山荘事件の時である。連合赤軍が人質を取って立て籠もり、それを取り込んだ機動隊との間で膠着状態が続いた。赤軍派は時折山荘からライフルを発射し、何名かの機動隊員が犠牲となった。ある日授業中に先生は「ハイ、機動隊はどうして突入しない。人質はもうとっくに殺されてしましよう（殺されていますよ）」と言った。果たして次の日機動隊は赤軍の隙を突き山荘へ突入、人質を無事救出し、赤軍派のメンバー全員を逮捕した。ある生徒が「先生、人質は生きていましたね」と言うと、「ハイ、実質そうなんです」とケロツとした顔をしている割には、その話題には2度と触れずに授業を進めたのである。

授業といえば、先生の出した宿題を忘れた場合、瞑目の後授業が始まる前に教壇の先生の所へ行って、その旨を伝えなければならなかった。以下はその時の会話。

「先生、宿題を忘れました」

「何お前は、連絡帳に書いた？」

「はい」

「書いたとすれば忘れる筈が無いんだな。ハイ、座りなさい」

と言われた生徒が席に戻って椅子に座ると

「ハイ、私が座れと言えそれは正座のことだな。ハイ正座」と言って生徒を正座させていた。

私達の学年が卒業してからは、38期、44期、50期を主に教えられ、東京、長崎で教育や布教活動に持ち前のパワーで活躍されているとの武勇伝を時折耳にしていた。先生に最後にお会いしたのは2017年8月26日、32期のみんなが還暦を迎えるのを記念して神戸で盛大なパーティーを開いた翌年、その東京版を開催するに当り、上智大学内のお御堂で

## 株式会社 マヤテック

〒650-0024 神戸市中央区海岸通5 商船三井ビル

取締役会長 五代友和 (15期)

TEL(078)391-3721, FAX(078)391-3927

みな かわ

## 南川和茂法律事務所

〒530-0047 大阪市北区西天満4丁目1番15号 西天満内藤ビル4階

弁護士 南川和茂 (23期)

TEL(06)6365-0400, FAX(06)6365-0455

E-mail: kaminakawa@nifty.com

伯母野山と、六甲生の中には  
ずっとかわらない何かがあります。  
春、六甲学院で会いましょう。

## 六甲伯友会 総会・懇親会

2023年4月23日（日）

13：00 総会 14：00 懇親会 ～16：00 終了予定

@六甲学院中学校・高等学校

今回は久しぶりに六甲学院をお借りして総会・懇親会を実施いたします。

懇親会はコンセプトを「OBたちの体育祭」として  
皆さん全員で参加してお楽しみいただける企画を準備しています。

期別に紅組と白組に分かれて  
六甲学院にまつわる楽しい競技に参加いただきます。

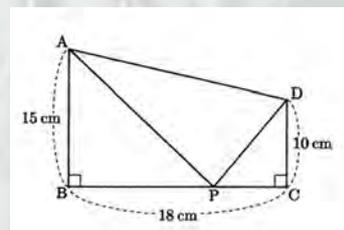
競技候補（一例：年代問わず参加可能なものばかりです！）



6 (ろく) .5 (ごう) 秒チャレンジ



タワシふりカウント



六甲中学入試問題

各競技の勝者にはもちろん**豪華賞品**をプレゼント。

JR六甲道・阪急六甲駅から母校までのタクシー代の補助も検討しています。

ぜひ、ふるってご参加ください

詳細は伯友会ホームページやSNSなど様々な形でお知らせしていきます。



奮闘ぶりをツイートしています。  
Twitterでぜひフォローしてください！

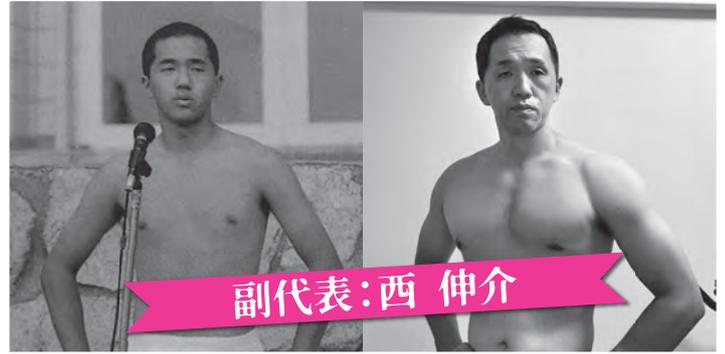


# 2023年伯友会総会幹事55期メンバー



代表幹事: 戸田 武志

おしゃべりテニス部員⇒おしゃべりベンチャー経営者



副代表: 西 伸介

体育祭委員長⇒夢の国の人事部長



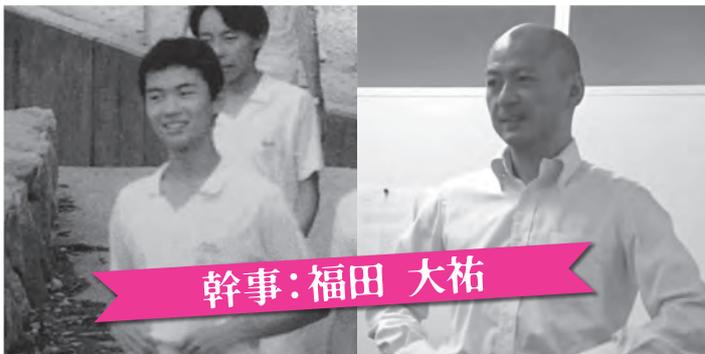
幹事: 高橋 映次

まじめな弓道家⇒京都の弁護士さん



幹事: 日野 哲志

ちりちり天パ⇒おしゃれパーマ弁護士さん



幹事: 福田 大祐

文系帰宅部⇒スキンヘッド弁護士



幹事: 横山 洋介

兄貴がオーちゃん、彼はQちゃん⇒家業の常務



幹事: 小倉 啓史

赤点だらけのラグビー部キャプテン⇒汐留の広告マン



幹事: 稲村 太佑

文化祭のステージ⇒プロのステージ

見た目は変わっても、昔と変わらず、  
「いつもとちょっと違ったことをやってみたい!」という  
“クセあり”なメンバーが集まりました。応援よろしくお願いします!

先生の司式によるミサを設けて頂いた時だ。髪はいよいよ少なくなり、残った髪は白髪というより金髪になっていた。それでもお元気そうに見えたがご本人は「最近足が痛くて不自由だな」と言っておられた。

随分と体が衰弱しているとの事で、同期の西村宏君が9月23日にお住居のロヨラハウスへお見舞へ行った際の報告を32期のメーリングリストで「何とか(僕のことは)判っておられるように見えたのですが、言葉を発する力がなく、とてもやせ細っておられ、しばらくすると眼を閉じて眠ってしまった」と寄せていた。

それから2週間後の帰天である。故国スペインを離れ、長く日本に滞在し、日本で生涯を全うされた。その最期の瞬間、先生の心に何が去来したかは想像すら出来ないが、先生の残した業績は私達の中に刻み込まれている。先生と次にお会いするその日迄、暫しのお訣れである。

(32期 近藤 健 記)

## ディアス先生の思い出

10月10日ディアス先生が帰天されました。

我々38期は中学1年生から高校3年生まで英語の授業と担任を持ってくださいました。先生の指導は、「英語は発音記号の規則で発音することが大切なんだな。日本語では書き表すことはできないんだな。カタカナの書いてある辞書を持っているものはすぐに捨ててしまいなさい。」と言って辞書を点検し、カタカナ表記にある辞書を本当に窓から投げ捨てたということがあるほど、時に熱心を通り越して激しすぎるといった面もありました。質問にうまく答えられなかったら正座させられるなどという、今ならパワハラになりそうな指導もしばしばでした。それでも、そんな先生の指導により、多くの生徒が確実に英語力を身に付けていきました。(自分は、残念ながら例外の部類でしたが)

また、先生は指導司祭として信仰教育に非常に熱心に取り組まれていました。我々の学年も入学当初10人程度だった信者が卒業時点では倍増、さらに卒業後も含めると30名以上が信者となるといった状況でした。母親への公教要理も並行して行っていたので、親子で洗礼を受けた例もいくつかありました。卒業後も折に触れて先生のもとを訪ね、信仰の相談をしていた者も少なからずいたようです。

四半世紀前、石神井の黙想の家で、他の司祭指導の黙想会に参加していた朝食の際、偶然お会いしたのが先生との最後

の出会いになってしまいました。

例のごとく「僕は、今本当に嬉しいんだなあ」と言って、周りの皆に教え子であることを紹介し、ギュッと握手されました。六甲在学中、「野田君は、本当に僕の宝物なんだな」と言われながらも、テストにひどい点をつける(まあ、そんな解答しか作成できない方が悪いのですが)先生に対し、六甲の教師でもあった父のこともあっての社交辞令的なものだと思っていたのですが、その時初めて先生の素直な気持ちを感じることができました。ただ、同時に突然のことでリアクションに困ったことも記憶に残っています。

良くも悪くも、あんなにまっすぐで、真正直な人には、その後、出会ったことがありません。

馬鹿な教え子ですみませんでした。そして、大切に思ってくれてありがとうございます。(38期 野田昭生 記)

## ディアス先生を偲んで



P. Manuel Díaz, S.J.  
マヌエル・ディアス神父  
1930-2022

葬儀の時に配られたカード

我々44期は、中1から高3までの六甲生活の丸々6年間、ずっとディアス先生に受け持っていたいただいた学年です。

つい先日も44期で十数名集まる機会があったのですが、先生が亡くなってまだひと月ほどということもあって思い出話がつきませんでした。ディアス先生が中1の44期を受け持った時の年齢はちょうど今の我々と同じくらい。この年であの悪ガキ軍団の面倒を見るなんてとても自分には無理だという話が出て、たしかにその通りと妙に納得しました。よほどの体力と情熱がないとできないことだと今になって改めて気づいた次第です。しかも我々44期で終わりではなく、入れ替わりで入ってきた50期の指導もされたわけ…。ちなみにその会合の際、全員に配られたのが写真のメモリアルカード。告別式の際に配布されたもので44期の高田君がイエズス会にお願いして刷り増ししてもらいまし

 三輝工業株式会社

〒555-0043 大阪市西淀川区大野1丁目5-12

濱田誠剛 (27期)

本社・工場 TEL(06)6475-5156(代), FAX(06)6475-5406

神戸駅前法律事務所

〒650-0027 神戸市中央区中町通2丁目2番17号 武田ビル5階

弁護士 佐藤功行 (41期)

TEL(078)381-7612, FAX(078)381-7591

E-mail: yoshixbb@gmail.com

た。大切に保管したいと思います。

私が最後に先生にお会いしたのは7年前。神戸にいらしたときにお時間を作っていただき、阪急六甲駅前の中華料理店で同期15名と楽しいひと時を過ごしました。その時点ですでに80歳を優に越えられていたはずですが、卒業したときとほとんど変わっていないお姿を見てとても驚いたのを覚えています。正直なところ、私のことなど覚えていないのではと思っていたのですが、集まった面々のことをかなり細かいことまでよく覚えておられて昔話に花が咲き本当に楽しい集まりでした。その時の写真のみんなの表情を見て頂ければ、それがよくわかると思います。



阪急六甲の中華料理店前で

残念ながら、44期の中にも先生より一足お先に旅立ってしまった仲間がいます。ディアス先生が、中華料理店に集まったあの日と同じように天国で彼らに囲まれて談笑していただければいいな、今はそんなことを考えています。

本当にチャーミングな方でした。ディアス先生、ありがとうございました。(44期 渡辺喜弘 記)

## ディアス先生の思い出

今年の10月10日、50期のメッセンジャーグループに、50期山本浩之君から、今日ディアス先生の訃報が届いた。以来50期の間でメッセージが飛び交った。49期の山内(神父)から山本君経由で9月頃、最近先生の体調が良くないと聞いたただけに、ショックではあったものの、「長い間ありがとうございました」という感謝の気持ちと、「やっとゆっくり休めるのですね」という安堵した気持ちになった。

私が六甲に入学した時の中1の担任がディアス先生だった。今まで外国人に触れることが少なかったが、ディアス先生は日本人のような人間味があり、すぐに馴染んだ。時折頭に血が上って真っ赤な顔になる所はさすがスペイン人の情

熱を感じたが、どこか母のような包容力があって優しさで包んでくれるようなところが好きだった。

中学受験を小4から3年間必死でやってきて、念願の六甲中学に合格し、目を輝かせていた入学当初から数か月がたち、段々と六甲という学校が見え始め、ふと小学校の時の頃を懐かしんで考え事をしていると、ディアス先生が「なんか最近元氣ないんだな、大丈夫?」と言って優しい笑顔で微笑んで包んでくれたのを覚えている。先生は良く僕たちを観察していて、心が弱っている子を見つけると、温かい笑顔で、優しく声をかけて接してくれていた。

その後も時には厳しく、時には激しく、そして優しく、僕達に英語を教えてくれた。高1の時あまりに生徒の態度が悪いために怒って職員室へ帰ってしまわれた。委員の私は職員室へ先生に戻ってもらうようお願いに行き、先生はやはり優しく教室へ戻ってくれた。

六甲の先生の次もロヨラハウスで色んな人々の心の支えになっておられたのだと思う。若き頃に故郷のスペインからはるばる日本に来られて、日本に馴染むのに苦労されたと思うが、ひたすら真剣に教育や心の支えになるよう、他人のために尽くしてこられた。ひたすら他の人のために尽くす、このような生き方ができるだろうか。その献身さが六甲精神の大切な一部なのだと思う。そしてディアス先生が持っておられた優しい包容力もまた六甲精神には欠かすことはできない一面なのだと思う。六甲を卒業して何十年が経っているが先生から教わるのがまだまだあるような気がして、自分の心の中に先生は生き続けて、つらい時先生のことを思い出し、困難を乗り越えていきたいと思う。



50期よりのメッセージ

今まで長い間様々な人を成長させ支えて下さり、ありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。

(50期 藤枝 誠 記)



アイクラフト株式会社  
地域に喜ばれるITを届けよう

〒650-0034  
神戸市中央区京町83番地  
三宮センチュリービル13F

代表取締役  
山本裕計 (43期)

TEL (078) 391-2900, FAX (078) 391-2901, URL : <https://www.icraft.jp>

## 山本香料 株式会社

代表取締役社長 山本芳邦 (体操部・28期)

(親不知の会 No.3)

## 保安係 藤田栄一氏のこと



六甲学院の正門を入るとすぐに右側に保安室がある。部外者が学校を訪れる場合は、保安室に置かれている用紙に氏名や来訪の目的を記入しなければならない。これは至極当たり前のことである。しかし、この保安室なる物は以前は無く、来訪者は校舎1階中央の事務室

でこの手続きを行っていた。

もう何年位前になるだろうか、この保安室が出来て初めて伯友会の用事で学校を訪れた時、この儀式を求められた。内心舌打ちをしたい気分であったが、対応の保安の人の笑顔がとても優しく素敵だったので、自分の心を恥じたものだ。

それから暫く経って、2度目に学校に行った時、用紙に記入しようとする、件の保安の人が「伯友会の方ですね。ご苦労様です。どうぞそのままお入り下さい」と言ってくれた。そして3回目には「近藤さん、こんにちわ」と挨拶するではないか。一流のホテルのドアマンは一度で客の顔と名前を覚えると聞かすが、正にそんな気分である。

通常顧客と契約している警備会社は一定の期間を過ぎれば、派遣先を変えるものだが、当時六甲の管財部長をしていた五百住さん(22期)が警備会社にお願ひして、この人を六甲学院専属の担当者にしてもらったと聞いた。校長先生は間違いなくその学校の顔である。しかし、その学校に来て初めて見る人も、ある意味学校の顔ではないだろうか。五百住さんの英断で以来六甲学院は素晴らしい学校の顔を得た訳である。

しかし、今はもうその素敵な笑顔を見ることは出来ない。今年の2月に突然心臓の病気で亡くなったと、学校の林さん(34期)から聞いた。そしてその時初めて素敵な笑顔の持ち主が藤田栄一であるところを知った。

ご冥福をお祈り申し上げます。

(32期 近藤 健 記)



俳句を軸とした文芸誌「沖ゆくらくだ」  
季刊で発行中。1部700円

**(株)学術出版印刷**

〒554-0022 大阪市此花区春日出中2-14-9

代表取締役 **近藤 健** (32期)

TEL (06) 6466-1588, FAX (06) 6463-2522, E-mail: kondou@mxt.mesh.ne.jp

## 寄稿・紀行・聴こう

旅の思い出やふと思った事などを書き綴ってみませんか。今までおぼろげであった記憶や体験を再発見出来るかもしれません。原稿料は出ませんが、自分の文章が誌に掲載される快感に浸って下さい。

## フリン先生祈念館への誘い

## &lt;初めに&gt;

P.Robert M. Flynn, S.J.先生は1920年にお生まれになり、2009年に昇天されました。六甲学院では、17期、23期、29期、35期、41期の五つの期を担当として、中学1年生から高校3年生まで一貫して指導して頂きました。その間、後に全catholic系の中学高校の英語教科書となる有名な「プロGRESS」を生み出されると共に、バスケットボール部コーチとしても活躍されました。

私は、六甲教会で執り行われた追悼ミサと遺品の展示会に出席しました。その時、フリン先生が最後まで身に付けておられた小さな木の十字架を見て「まるでマザーテレサのようだ」と衝撃を受けました。遺品は欲しい方に下さるとの事でしたので、後日車を出して肖像画や写真アルバムなど全部もらって来ました。永く自宅に保管していましたが、六甲生みんなの財産だと思い、フリン先生祈念館を作る事を提案させて頂きました。ご賛同頂いた六甲学院の関係者の皆さん、貴重な思い出の品々を寄贈頂いた皆様に感謝致します。

## &lt;フリン先生祈念館はどこにあるのか?&gt;

フリン先生祈念館は、六甲学院校庭内の別館に有ります。昔は神父様達が居住されていた懐かしい別館のマリア様の左側の小路を進んで頂きますと正門に至ります。別館正門の鍵は、平時は閉まっています。

ご見学を希望される方は、29期 松本宏さん (E-Mail: ma2motohr4@gmail.com) までEメールでお申し込み下さい。同行して鍵を開けると共に案内してくれるそうです。また、コロナ感染が終息しましたら、今まで通り、年に一度お掃除と祈念館見学とフリン先生追悼ミサと新しくなった六甲学院校舎見学会をワンパックにした「フリン先生を偲ぶ会」を開かせて頂きます。

## &lt;遺品内容&gt;

フリン先生祈念館内に入られますと、フリン先生の肖像画、めがね、バスケットボールのホイッスル、万能ナイフスプーン、フリン先生の家族写真、六甲生と写された大量の写真、そしてあの有名な「プロGRESS」英語教科書の17期から



別館の入口から



別館正門

現在に至るまでの全てが展示されています。

<初代プログレス>

特に、17期 小島様よりご寄贈頂きました初代プログレスは、わら半紙にガリ版印刷された手作りの物です。六甲生のお宝発見団に出せば天文学的な評価額がつくかなあとと思っています。

<製本化プログレス>

手作りのプログレスは、29期時代に製本化されました。全冊 29期 八木さんの実家から発掘され寄贈頂きました。

<改訂版プログレス>

更に 35期になると内容も一新されプログレス改訂版が出されました。全冊 35期のご協力で揃えて頂きました。

<録音テープ化プログレス>

創立当初より、神父様という沢山のネイティブ・スピーカがおられた六甲学院では、耳で聞く、いわゆるヒヤリングに力を入れておられました。

自習復習用には、オープンリール製のプログレス学習用の

テープが作成されました。

<プログレスリピータ>

その後オープンリールテープは、CDに替わり何度も同じところを繰り返し学習できるようになりました。当時最新鋭の sony 製 CD リピータを 29期 芝山さんが実家で発掘され、ご寄贈頂きました。

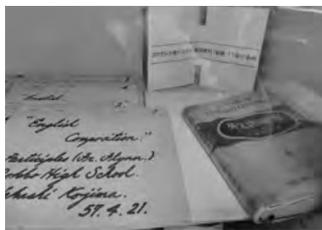
フリン先生祈念館に来て頂きますと、このリピータを動かして、プログレスの CD から昔懐かしいブランガン先生、ミス先生などの肉声を聞いて頂く事が出来ます。

<最後に>

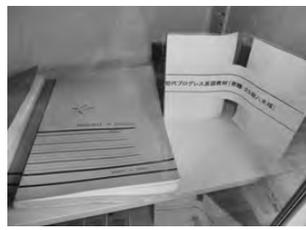
「青春は密なんです」と言う言葉が今年の高校野球から生まれましたが、多感な中学 1年生から私たちの人生を変えるほどに影響を与えて下さったフリン先生と六甲学院に感謝申し上げます。そして多くの方々が、フリン先生が亡くなられた 2009年 から今日に至るまでずっと慕っておられる事に驚嘆します。この祈念館に来て頂き、何かを思い出して頂ければ幸いです。(29期 藤井則雄 記)



先生の遺品



ガリ版プログレス



製本化プログレス



改訂版プログレス



プログレスのテープ化



プログレスリピータ

「万年筆のススメ」

●手書きのススメ

近年、パソコンやスマホ、タブレットを使ってメモを取る機会が増えているが、ペンを使って紙に書く手書きを推奨する話もよく聞く。手書きのどこが優れているのだろうか。5つ挙げてみよう。

- ①日本語変換などの手間がかからないため、考えたことをそのまま文字にしやすい。
- ②好きな場所に好きな大きさとで文字を書けるため、アイデアを表現しやすい。線も自由に引ける。
- ③キーボードを叩いたり、ディスプレイ上で指を滑らせたりのみではないので、手書きは書いた内容を記憶に残しやすい。
- ④文字の大きさを少しずつ変えるなど、文字そのものの以外の情報が手書きには含めやすい。

- ⑤書くことで自分の考え方を見直すきっかけになりやすい。電子テキストでも同じ効果が得られるが、量が増えると手書きの方が存在感がある。

●なぜ万年筆なのか

ボールペンやサインペン、鉛筆など手軽な筆記具があるのに、なぜ万年筆を使うのか。

まず注目したいのは書き味。良質な紙の上を滑らせる感触は何にも代え難い。ずっと書いていたいと思ってしまうほどだ。数えきれないほどの種類のインクも魅力の1つだ。万年筆に使えて、現在入手可能なものに限っても、数百種類はあるはず。

ペン先の太さも、極細から極太までいろいろある。細いものはボールペンよりも細く書けるので、小さな手帳に書き込むことが可能。太いものはサインペンのような太さで書ける。ペンの向きによって太さが変わるものもある。

万年筆はボールペンと異なり、長く使うことを想定したつくりになっている。丁寧に扱えば、製造から数十年経っても十分使える。また、ボールペンは芯が製造中止になる

と、本体に問題がなくても使えなくなるが、万年筆はインクがあれば使えるので、長く使いやすい。そして、なんと言っても、美しい。胴軸部分に彫刻が施してあったり、蒔絵が描いてあったり、工夫されているものも多い。

### ●万年筆に問題点はないのか

万年筆にも注意すべき点はある。とにかく面倒だ。頻繁に使わないと、インクが固まってしまい、故障の原因になる。最近では、キャップをちゃんと付けておけば、半年くらいは問題なく書ける製品もあるが、基本的には週に数回程度は使って、インクの流れを良くしておきたい。

インクの扱いも面倒。指先に付着すると、なかなか落ちない。衣服に付くと絶望的だ。万年筆を床に落とすと、インクが飛び出たり、キャップの中にインクが飛び散ったりすることがある。

値段もバカにできない。ボールペンと比べると、一般に高価だ。数百円で購入できる製品もあるが、書き味やデザインの面で中級品以上のものに大きく劣る。と言っても、いくら以上なら満足できるかを一概に言うことは難しい。万年筆に求めるものが人によって異なるからだ。単純に万年筆用のインクを使えるものが欲しいのなら、数百円で十分だ。工芸品としての美しさを求めるなら、10万円でも足りない。

さらに、場面や使う人を選ぶ筆記具だといえる。高価な万年筆は基本的に貸し借りできない。たとえば、ボールペンしか使ったことがない人がボールペン並みの強い筆圧を加えると、ペン先(ニブとも言う)が曲がってしまい、修理が必要になってしまうことがある。万年筆を日常的に使っている相手にしか、大切な万年筆を貸すことはできない。

どんなに急いでいても、万年筆にはキャップを閉める手間が必要である。キャップレスタイプの万年筆もちらほら見かけようになったが、通常タイプの万年筆をキャップせずに放置しているとインクが乾いてしまう。多少の乾燥なら、水に浸して中を洗浄することで元に戻るが、あまり長い間、放置していると固まってしまう。そうなると、専門業者に依頼するしかない。

万年筆は紙も選ぶ。滲みやすい紙は万年筆には向かない。顔料インクを使えば、若干マシになるが、インクの大半は染料インクだ。また、顔料インクなら滲まないというわけでもない。ボールペンや鉛筆が紙を選ばないのとは対照的だ。

### ●安価な万年筆と高価な万年筆の違い

現在、万年筆は百円ショップでも買えるし、通販では安価な海外製品も目に付く。しかし、低価格な製品にはそれなりの理由がある。

万年筆のニブの材質は、ステンレススチール(以下、鉄)または金が使われる。前者を採用した製品は安価で、後者を採用した製品は高価になることが多い。

万年筆のことを勉強し始めの人は、「ニブの材質によって書き味が変わってくる」と思いがちだ。「金属の性質として、鉄は固く、金は柔らかい。だから、金製のニブは書き心地がいい」と私も一時期は思っていた。しかし、これは誤りである。

確かに、金属として鉄と金を比べると、鉄は固く、金は柔らかい。だから、鉄製のニブを持つ万年筆は、書き味が硬めであると考えてしまうが、実は違う。

紙との接点(ペンポイントと言う)は、低価格製品の一部を除き、鉄製も金製も同じイリドスミンという合金が使われ

ている。これは大変固い金属なので、紙と多少擦り合わせたところですり減るものではない。

また、「鉄製のニブの方が金製よりもしなりにくいから書き味が硬く感じる」という説明も当たっていない。しなりやすさにはニブの形状が大きく関係しており、金製でもカリカリとした硬い書き味を実現したニブの製品もある。逆に、鉄製でもしなりのある柔らかい書き味のものも、少ないながら存在する。ただし、金製のニブを採用した万年筆は高価で、細かいところまで調整されており、一般的にバランスが良い。それをもって、「書き味がいい」と判断しがちなのだ。

ニブが鉄製かつ低価格なものは作りが粗く、胴軸にもコストをかけられないので、全体的に安っぽくなってしまう。そのため、1000円未満の製品は、いくつかの例外を除き、一般的に意味での万年筆だと思わない方がいい。

### ●おすすめの万年筆

まだ万年筆を使ったことがない、あるいはあまり頻繁に使ってこなかった人に向けて、選び方の方針を挙げたい。

すでに述べたとおり、1000円以下の製品など、あまりに低価格なものは万年筆としてはおすすめできない。

では、有名なモンブランなどの高価な製品はどうだろうか。万年筆についての知識が増えてくれば、高価な製品をそれに相応しく扱えるようになるので、予算の許す限り、高価なものを購入するといいい。ただ、1本目の万年筆であれば、高価な製品は選択肢から外したい。理由はいくつかある。

万年筆の扱い方に慣れていないと、うまく使えず、最悪の場合、壊してしまいかねないからだ。インクの入れ方、持ち運び方、筆圧のかけ方、万年筆を持つ角度など、万年筆の扱いで注意すべき点はたくさんある。

そういった扱い方を知らずに高価な製品を壊してしまうと、金銭的、精神的なダメージが大きくなる。そこでおすすめしたいのが、3000円くらいから1万円前後の製品だ。

ニブが鉄製であれば、パイロットの「コクーン」が3000円前後で購入できる。また、ラミーの「サファリ」シリーズは胴軸で指を添える場所に凹みがあり、持ちやすい。価格も3000円前後で手軽に買える。

金製のニブを試してみたいなら、プラチナの「#3776 センチュリー」、またはパイロットの「カスタム74」がいい。特に「#3776 センチュリー」は、インクが乾きにくいスリップシール機構を採用しており、初心者でも安心して使える。いずれも価格は1万円前後。

1万円前後までの入門クラスを使いこなせるようになれば、あとは好きなものを入手して万年筆ライフを楽しみたい。ただ、「そう言われても、どれがいいのか迷ってしまう」という人のために、個人的におすすめできる製品を2本ピックアップしておきたい。

#### ①ペリカン「スーパーレーン M800」

井上ひさしが原稿執筆に使っていたらしい。大量に手書きで文字を書きたいなら、とりあえず試してみるべき。バランス、書き味、デザイン、すべてが完璧だ。手の小さい人にはM600やM400、もっとしっかりした存在感を感じたい人にはM1000がおすすめ。

#### ②パイロット「カスタム845」

モンブランの「マイスターシュテュック149」は万年筆の最高峰だが、国内メーカーの最高峰といえこれに挙げた

い。価格はモンブランよりかなり安めだが、全体の存在感は勝るとも劣らない。



ペリカン「スーパーレイン M800」。  
実勢価格は 6 万円



パイロット「カスタム 845」。  
実勢価格は 5 万 5000 円

(42 期 森谷健一 記)

## 参考文献

『「手書き」をとことん楽しむ 万年筆・ガラスペン入門』  
(マキノ出版)

## 「父と過ごした最後の 4 ヶ月間に感じた 3 つのこと」

### ■初めに■

昨年 4 月に父を亡くしました。その約 4 ヶ月前の 12 月 1 日に胃がん（ステージ 4）を宣告されてから、『限られた時間の良さ』、『情けは人のためならず』、『伯友会活動への感謝』の 3 つを感じた時間を過ごしたので、ここに記したいと思います。

### ■限られた時間の良さ

胃がんを宣告されてから実質 3 ヶ月の自宅療養の期間は、父と過ごした最も濃い時間だったように思います。

1~2 ヶ月前から「食べると吐き気がするねん」と電話で言っていました。私は「どうせ食べ過ぎてるんやろう」と高をくくっていました。

「病院に連れて行って欲しい」と頼まれて付き添っていった所、宣告を受けることになったのですが、何故か妙に冷静に受け止められました。

母は数年前から要介護状態で、父は母の介護をしながらの二人暮らしのため、病院への付き添いは主に私が担当することになりました。また、これまで父が担っていた母の食事やトイレの世話なども、父が急激に弱りだしたので、兄家族と私の家族でシフトを組んでやることにしました。

近所の病院（がん宣告された病院）とその病院から紹介された大病院との意見が違い、手術だ、抗がん剤だと二転三転した挙げ句、1 月初めに抗がん剤を 1 日だけ服用しましたが、夜中に七転八倒して一気に体調が悪くなり、家族で 24 時間体制の看護をすることになりました。

父は既にお粥も少量しか食べられなくなっていたのですが、母や私が美味しそうに食べる姿が見たいと「今日はハゲ鍋にしろ」などと注文を付けてきたりしていました（笑）

具合が悪くなると、元々短気な性格な父は、母に言葉で当たっては、「悪かった」と謝ったりしていました。

不思議なことに私は、そういう父に対して腹が立ったり嫌な気分にはならず、この歳の親子こそ深い話ができて、父も「こんな話が出来て良かった」と言っていました。もしかしたら、父の残り時間が限られていたからこそできたこと、話せたことだったのかなと思います。

### ■情けは人のためならず

父のためだと思ってお世話をしていましたが、結果としては自分の中で後悔しないための行動だったように思います。全く後悔はなく見送らせてくれたことは、父のワガママを聞いたおかげだったのかも知れません。ただ、1 つだけあると

したら、お葬式でボラれてしまったことです（笑）。家族のみ（9 名）で弔問客なしの葬儀で 200 万円ですよ！遺体引き取り後の金額交渉は、人質を取られた状態です。みなさん、葬儀社には縁起悪いと思わず、生きている間に連絡して数社の見積を取っておいてください。

### ■伯友会活動への感謝

先日亡くなられた関本剛君との出会いは、父と自分にとって非常に大きなものとなりました。彼と出会ったのは、彼のがんが発覚する数ヶ月前で、その翌年の「伯友秋号」の編集会議の時に病気のことを知ることになり、広報委員みんなが彼の著書を読んでインタビューすることになりました。

彼との出会いで、緩和ケアというものがどんなものかの知識を得た直後に、父の胃がんが宣告されたので、関本君の著書や伯友のインタビュー記事を父に読ませたところ、「俺も緩和ケアを受けたい」と言い出しました。

12 月末に関本君にメールで相談したところ、在宅緩和ケア医に体調を整えて貰いつつ自宅で過ごし、同時に自宅療養に限界が来た時のための緩和ケア病棟を探してくださいとアドバイスを頂きましたが、COVID-19 の緊急事態宣言中だったのもあり、近所で簡単には見つからず、1 月半ばから母もお世話になっている近所の病院の訪問看護のお世話になることになりました。そして 3 月から、その病院の一般病棟に入院してからは毎日、父の不満メールが届くようになり、「緩和ケアを受けたい！」と訴えられたので探したところ、近隣で何とか入院可能な緩和ケア病棟が見つかり、無理を言って転院させて貰いました。

緩和ケア病棟のある病院で関本君の話をしたところ、看護師さんをご存じだったのもあり、こちらも安心できました。また入院していた病院の院長先生にも関本君の本を出して「この本を読んだ父は、どうしても緩和ケアを受けたいと言っているの」と話したところ、関本君のお母さまを知っておられる方だったのもあり、こちらの想いをすぐに理解していただきました。

結局、父の念願だった緩和ケア病棟では 2 週間ほどしか過ごせませんでした。入院当日に「ここは天国や」と言ってくれました。本当はコロナ禍で面会できない状況だったのに、看護師さんの気遣いで、数回面会できたのです。その時の父の表情が穏やかで、何より母が「ここに入れて本当に良かった。もう覚悟ができた」と言ってくれたのが、本当に嬉しかったです。きっと伯友会活動に携わっていなかったら、このような形で父を見送ることはなかったでしょう。

六甲時代、友人の母親から「松下君って学費をドブに捨てたみたいね」と言われる程の落ちこぼれだった私でしたが、父の私への投資は、最後は父に戻ったと思います。

生前父はよく私に「10 代の友達は一生涯の財産や」と言っていました。私にとって本当に残念な（笑）偶然が重なり、全く柄にもない広報委員長という役を仰せつかりましたが、まさに六甲で得た優秀な友達、先輩、後輩に支えられて、3 期 9 年間務めることができました。父の死をキッカケに改めて感じたことと、関本君への追悼の想いを込めて、この記事を書かせて頂きました。関本君には感謝しかありません。きっとあの世で父からも感謝されていることだと思います。

(42 期 松下治正 記)

## クラブOB会だより

### 山岳部OB会報告

#### 2022 年度総会 阪上先生墓参報告

六甲学院山岳会（山岳部 OB 会）の総会を 10 月 30 日、長峰墓地にて開催しました。参加者は 8 期から 34 期までの 14 名（出席者は写真参照）。

まず、六甲教会の中村神父さま（15 期山岳部）の司式で、2002 年 12 月 3 日に帰天された故阪上秀太郎先生（1 期、オッサン）を追悼。在りし日を偲び、思い出を語り合いました。次に、2003 年から昨年まで 18 年の長きにわたり、山岳会の会長を務めていただいた森川列氏（8 期）に感謝状と記念品を贈呈。会計報告、ウェブサイトの改訂報告を行いました。さらに、場所を近くの谷間に移し、バーベキュー、部歌斉唱などで懇親を深めました。

イベントとして、前日 29 日には 6 名のメンバーで武庫川廃線跡をハイキング。トンネル内ではヘッドランプを点け、ちょっとした探検気分。鹿と猪の串揚げでビールを飲み干しました。



武庫川廃線跡ハイキング：左から 16 北村、21 春木、25 前田、34 藤原、34 佐藤、28 中家（数字は期）

### 音楽部OB会報告

#### 音楽部第 51 回音楽定期演奏会報告

令和 4 年 3 月 28 日、第 51 回音楽定期演奏会が東灘区文化センター（うはらホール）で開催されました。永年、音楽部顧問としてご指導いただいた小原先生及び井坂先生の退官を受けて、日本全国から集まった 20 期代から 70 期代までの音楽部 OB と現役部員が合同で演奏しました。世代の違う者同士が、音楽部の繋がりを基に一つの音楽を奏でる様子は、六甲の伝統そのものだと感じました。この良き伝統を今後も引き継いでいきたいと考えています。

同演奏会后、20 期の宇都宮先輩より引き継ぎ、六吹会（音楽部 OB 会）会長を務めさせていただくこととなりました。引き続き、音楽部へご支援賜りますよう、よろしく願いいたします。（57 期 池内信介 記）

#### OB 演奏会のお知らせ

2023 年 8 月 13 日（日）に、六甲音楽部 OB 楽団 OB 演奏会を開催いたします。

一緒に演奏に参加されませんか。奏者としてご参加をご希望される方は、以下の URL または QR コードからフォームにご回答ください。演奏会の詳細も、そちらからご確認いただけます。



参加フォーム：https://forms.gle/74zTcbp3iwYg8s6P8  
連絡先：rokkoobgakudan@gmail.com（担当：77 期 勝村）

「山岳会を挙げての行事は会員の高齢化によりなされていませませんが、有志によるハイキング、摩耶山近辺での鍋集まりや、関東でも有志による登山が結構な頻度でなされています。歳取れば歳取ったなりの山の楽しみ方もあると感じています。引き続き山でお会いできればと存じます」

（30 期塩村会長メッセージ）

六甲学院山岳会ウェブサイト：

https://sites.google.com/view/rokkohac/  
%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0  
オッサンの人となり、山岳部員とのきずなについては、以下、「伯友」記事をお読みください。

https://bopizwcl2aftmsvu2fp5qg.on.driv.tw/  
open/ossan/ossan1.html（34 期 佐藤俊介記）



長峰墓地にて。数字は期

## 高橋金属 株式会社

代表取締役 高橋伸治（28 期）

（親不知の会 No.1）

有限会社  
アークスコーベ  
一級建築士事務所

32 期  
石丸 信明

〒530-0041 大阪市北区天神橋 2-2-23 アークスビル  
Tel 06-6136-1070 Fax 06-6136-1071  
ishimaru@arxkobe.com https://arxkobe.com



## 出版案内・本紹介



この欄では、会員や恩師の中で出版された方の本の案内をしたり、お奨め本の紹介や書評などの記事を掲載致します。お気軽にご投稿下さい。自薦他薦を問いません。(推薦者の記載の無い記事は、原則として著者本人による記事です)

## 『高みをめざして』 ～六甲精神の源をさぐる～

著者 古泉 肇 (30期)

出版社 イカル舎

価格 2,000円 (税込)

石井：この度、先生が『高みをめざして』という本を上梓されました。サブタイトルに「六甲学院物語」とあるように母校六甲学院の誕生から現在に至る迄について書かれていますね。

古泉：その通りです。

石井：この本については伯友会のホームページにも掲載されていますし、今年5月に私達54期が担当した伯友会の懇親会の時は、古泉先生御自身にこの本について語って頂きました。そして今日はその第3弾として「伯友」の秋号に対談記事として掲載することとなり、私が聞き手を仰せつかりました。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

古泉：こちらこそ宜しくお願い致します。

石井：では早速ですが、先生がこの本を書こうと思われたきっかけとか動機はなんだったんでしょうか。



古泉：六甲学院は初代校長の武宮先生、2代目シュワイツェル先生、3代目栗本先生の3人により建学の精神が創られました。3人合わせると実に44年に及ぶ長い期間です。とりわけ武宮先生は27年という長期間に亘って校長を



古泉先生

務められたわけで、現在まで続いてきた学校の伝統は武宮先生が作ったと言っても過言ではありません。しかしその反面、例えば便所掃除(便番)はどういう経緯で始まったのかを知る人は殆んどいません。そういう事柄をきちんと調べ、記録に残す事が出来るのは今しか無く、また私にしか出来ないという危機感と使命感から書くことにしたのです。

石井：資料を集めるのは大変なご苦労があったと推察しますが。

古泉：別館の1室に資料を集めている部屋があります。その中には各期の卒業アルバムや文集といった物から、クラブで発行していたクラブ誌、体育祭、文化祭などの古今の学校行事



54期 石井宏武氏

の写真が整理もされずに収められています。その中で私が武宮先生に関する原稿を書くにあたり一番参考にしたのは、1981年に発行された『追悼～武宮先生を偲びて～』という本です。これは武宮先から直接薫陶をうけた教え子・教員・保護者が武宮先生について書いた証言集と言っていいでしょう。因みにこの本は、販売ではなく希望者に無料配布されたようで、その為か現存が確認されている本が少なく、かじろうて学校にあった1冊を私は読む事が出来ました。もしこの記事を読んで、「私の家にあるよ」という方は再度読み返されるといいかもしれません。

石井：証言集となると、中には信憑性に欠ける物もあったりするのではないですか。

古泉：勿論ありました。Aという人とBという人が、同じ事について書いているのに内容が違うという事がありました。その時は別の資料を調べ、どちらが正しいか判断しました。それでも、どちらが正しいかが判断出来ない時は、本に掲載しませんでした。

石井：その様に苦勞されて書かれた本ですが、読者の反応は如何でしょう。

古泉：私は紙面の多くを武宮先生関連の記事に費やしました。それは先程も申し上げたように、今やっておかないとという危機感があったからです。武宮先生を何らかの形でご存知の人達、学年でいうと30期台迄の人は、その人独自の武宮先生観というのを持っています。それに反し、40期台・50期台の人達は、折に触れ武宮先生の名前は耳にするだけけれどリアルタイムでの武宮先生を知らない。という事で年齢の高いOBよりも、若い世代の人達に興味を持って頂いているようです。

石井：私が六甲に在学中に、ある先生から「お前達は死ぬ為に生きている」的な事を言われました。その時はそれが何を意味するか理解出来なかったのですが、この本を読んでその時のその先生の考え方が分かったような気がします。

古泉：ラテン語に「メメント・モリ」という言葉があります。この言葉はペストが猛威を振った中世ヨーロッパで生まれました。黒死病と呼ばれたペストは、当時の人口の半分程の人々の命を奪ったと言われています。そんな中、死と間近に

向き合った人達は、或る者は自らを律し、或る者は自堕落な生活を送ったと言われています。神父である武宮先生は当然人間は例外無しにやがて死ぬという死生観を表わすこの言葉をご存じだったし「死」について朝礼や宗教の時間によく話されていました。

石井：私はこの本で何箇所か出てくる番外編を楽しく読ませて頂きましたが、何か本を書くにあたって工夫された事はありますか。

古泉：私は余り文章を書くのが得意ではなく、なるべく平明に中学生が読んでも理解出来るような表現で書いた積りで。ですので、六甲を受験しようかと思っている小学生には少し難しいかもしれませんが、ぜひ六甲学院の受験を考えておられる小学生と保護者の方には読んで欲しいと考えています。保護者の協力が必要かもしれません。また昔の写真はともかくとして、最近の写真は肖像権とか色々難しい問題があるので、イラストを用いました。結果、仕上がりもソフトになりました。石井君が言う番外編も本編ばかりだと重苦しくなるので、息抜きになる所という事で入れました。

石井：当初お伺いしていたより、随分と本の完成が遅くなったと思うのですが、これには何か理由があるのですか。

古泉：校正に時間がかかってしまったのが原因です。その殆んどが私の文章の拙さが原因の、文体や文末表現の統一性でした。ただ完成の時期が遅れたことでよかったこともあり。今年の1月には脱稿していたのですが、私が戦争の事について書いている事について、出版社の方は、読者が戦争中の六甲学院の様子に興味をもつか心配しました。それが2月になってウクライナで戦争が始まり、創立当時の六甲学院の教育についてもっと理解して頂けたと思います。そんなこんなのやり取りのお蔭で手前味噌ではありますが、完成度の高い本に仕上がったと思っています。

石井：この本は直接この本に関する事ではないのですが、「六甲会」や「母の会」が無くなりました。これらは六甲らしさ、延いては六甲精神の衰退ではないでしょうか。

古泉：私はそうは思いません。武宮先生の石碑は「すべての



対談する古泉先生と石井氏

物は過ぎさりそして消えゆく」から始まりますが、人間が造る或は作る物で永遠の物はありません。六甲の校則や行事もその例外ではありません。昔は休み時間の終わりにサイレンが鳴ると、生徒は静止し整列して校舎に入っていました。やがて整列はしなくてよくなり、近隣に住宅が増えた事で、サイレンがチャイムになり、静止もなくなりました。コロナの影響で、中間体操や便番も昔の姿では行っていないし、昔の様に戻るのかどうかは、社会の動静を鑑みて学校が判断する事です。敢え今迄やって来た事が、変わったり無くなったとしても、それで六甲精神が衰退するとは思いません。これは私の私見ですが、「瞑目」は六甲が有る限り永遠に続くと思います。

石井：私もそう感じております。是非1人でも多くの方がこの本を手にとって読んで欲しいと思っております。古泉先生本日はどうもありがとうございました。

古泉：こちらこそありがとうございました。武宮先生そして六甲精神の全体像がよく分かるように書かれています。ぜひたくさんの方に読んでいただければ幸いです。

(54期 石井宏武 記)

この本に興味のある方は伯友会のホームページ

<https://www.hakuyu.jp>

をご覧のうえ、お申し込み頂ければ購入出来ます。

## 『えらべ、いのちを』(申命記 上) ～焚き火を囲んで聴く神の物語・説教篇6～

著者 大頭眞一 (36期)

出版社 ヨベル

価格 1,100円+税

帯に記載されている内容

「生きよ!」と土に息を吹きかけた神が人生の荒野でも後を追いかけてくる。クリスチャンは「年中工事中」。見苦しくても、穴ぼこだらけでも、神によって始められてしまったりニューアル人生の途上に変わりはない。パスター“コウジチュー”オオズの、説教前夜の呻吟ぶりを垣間見せつつも「申命記」を現代にフワッと引き寄せてしまう講解説教第6冊目!



## 『聖化の再発見』上下

著者 英国ナザレン神学校

訳者 大頭眞一(36期)と焚き火を囲む仲間たち

出版社 いのちのことば社

価格 上下各2,000円+税

帯に記載されている内容

しばしば個人的な「きよめの体験」として扱われてきたホーリネスを聖書に照らして吟味・再考する。英国・ナザレン神学校の教授たちが共同で聖書的・神学的・教会史的・牧会的に省察した論考を初の邦訳。体験主義の偏りを修正し聖性の豊かさを発見する。上巻は旧約・教会史。下巻は新約・聖化の用語。





## 『がんになった緩和ケア医が語る 「残り2年」の生き方、考え方』

著者 関本 剛 (52期)

出版社 宝島社 (宝島文庫)

価格 1,100円+税

※以前、こちらの書評欄で50期藤原さんが紹介されておりましたが、書籍も文庫化され、また、著者のお別れ会も開催されましたので、重複となりましたが、改めてご紹介をさせていただきます。“人はなぜ生きるのか——。緩和ケア医として多くの終末期患者たちを看取ってきた40代の医師に下された末期がんの宣告。患者たちと立場をともしたとき、医師は初めて命の何たるかを理解した。余命を意識しながら仕事と向き合い続ける医師が語った、「運命」の受容と抵抗のノンフィクション。”

上記は Amazon サイトにも書かれた、この本の紹介文であり、単純なコンテンツ (本に書いてあること) という意味では、それですべてを網羅しております。「人はいつか必ず死ぬ」「人は生まれた瞬間から死に向かって一步一步歩いている」という大前提の下、一方で、「明日死ぬかもしれないと思って、日々を大切に生きろ!」と周りから諭されても、そんな簡単な話ではないのも、また事実です。

著者である緩和ケア医：関本先生は、私が六甲に入学した中学1年生の時の学級委員長であり、それからの30年以上の共に歩んだ日々の中で彼に対して強い憧れと尊敬を持つ存在であり、その彼が自ら体験し、一つ一つ優しく丁寧に語る言葉は、心に重く刺さりました。

そして、そんな誰からも尊敬される存在である彼がわざわざ言わずとも、彼がそんな辛い経験をせずとも、我々には考える脳みそがあり、感じる心があり、そのための材料である情報 (本やら、ネット情報やら) があります。

私が言えることは、どうか一人でも多くの方がこちらの本を手に取り、生と死に対して何かを感じ、周りの大切な存在に大切だと照れずに伝えてほしいということ。それこそが緩和ケア医である著者が病状を洗いざらい公表し、著書を出した一つの目的であったであろうということが、読んでみての率直な感想です。(Amazonでも闘病記分野で第一位となっていたのは読まれた方の心に刺さったものかとも思いました)

「最善に期待し、最悪に備える」という著者の言葉に対して、私は、自分のここ数年の座右の銘である「たとえ微力でも、無力ではないので、全力を尽くす」という言葉を心の中で返しました。私は、本を読み、伝え、自分のため家族のため仲間のために行動します。

2022年8月に六甲学院講堂で開催されたお別れ会では、



数百名の参加者の心からの尊敬の言葉で満ち溢れた、そして、彼の愛した音楽で明るく送り出し。「人間は死ぬ瞬間まで成長し続けることができる」と公言し、最後の最後まで実践していた彼の心の安らぎを今は祈ります。剛ちゃん、ありがとう。また、いつの日か。

〈追伸〉

最後に、本を離れてもう一つ。病気の SNS での公表時は2020年の伯友会幹事期としての準備活動の真っ最中。毎週のように仕事帰りに集まり、時に酒を飲み、「大人になってからの文化祭・体育祭準備のようだね」と副代表の一人として難しい役割をこなしてくれておりました。残された貴重な時間の中でどこまで関与して貰えば良いのかこちらが躊躇している中、「幹事期役割は続けます。好きなことなので。」と公言してくれたこと、本当に嬉しかったです。伯友会の活動も、こうした一人ひとりの小さな貢献の積み重ねで成り立っていることを感じるひと時でした。我々52期はコロナにより伯友会総会懇親会を神戸・東京ともに開催を実現することは出来ませんでした。今後幹事期担当される55期以降の卒業生にとっても、伯友会幹事期業務が同級生との大切な時間となることを願っております。

(52期 水原浩志 記)

### 【目次】

- 1章 宣告
- 2章 医師の道へ
- 3章 死について思うこと
- 4章 生きてきたように
- 5章 最高の人生に向かって

### 【関本 剛氏 (六甲52期)】

1976年、兵庫県生まれ。関西医科大学卒業後、同大学付属病院、六甲病院緩和ケア内科勤務を経て、2015年から母親 (関本雅子氏) が立ち上げた在宅ホスピス「関本クリニック」に移り、3年後に院長に就任。緩和ケア医として1,000人以上の「看取り」を経験する中、2019年にステージ4の肺がんが発見される。2022年4月、肺がんによる脳転移のため神戸市内の自宅で逝去。享年45歳。



## 『海底撈 知られざる中国巨大外食企業の素顔』

著者 山下 純 (52期)

出版社 徳間書店

価格 1,100円+税

著者の山下氏は六甲卒業後に、京大から旧・松下電器産業 (現パナソニック) に入社。通算15年にわたる中国駐在など一貫して中国畑 (所謂チャイナスクール) の経歴。(駐在の合間に一時期日本



の国際大学で MBA 留学とか)。

六甲時代にはバスケットボール部に所属し、私とは同じセンターのポジションを争ったライバルでもあります。そんな著者は大学時代から旅が好きで、中国・ロシア・ルーマニア・ブルガリア・イスラエル・トルコ・ウズベキスタン・香港と共に旅したのはよき思い出です。

著者は入社すぐに自ら手を挙げて行った中国での語学留学で、中国語(北京語)・広東語を完璧にマスター。堪能な中国語と豊富な中国ビジネスの現場経験を評価されて、2017年から2020年にかけて、中国最大の外食企業である火鍋チェーン海底撈グループとのロボット調理の協業事業の立ち上げに参画。合弁会社を設立し初代総経理に就任になっておりました。

本著は、そんな彼の事業経験に基づき、海底撈の創業者やビジネスモデルを解説した内容です。火鍋や外食という分野に限ってしまうと、つつい本質を見誤ってしまいますが、この本で言いたいことは、「長く複雑な歴史の結果としての先入観により見誤りがちな日本人の中国ビジネス観」「合弁事業の本質(特に、日中合弁)」「中国における貧富の格差と立身出世(外食を通じた地方出身者の成り上がり)」「DX」といった一般的な内容であり、「外食界の Amazon だね」とも思うような顧客に選ばれて勝ち残る企業が只管実践し続けていた顧客第一主義のサービスを教えてくれる内容でした。(勿論、体力無いと、それを継続することなんてできない訳ですが)

丁度、先般開催された北京冬季五輪でも自動配膳等のロボット活用が話題でしたが、こちらの本を呼んで、日頃は殆ど接点や興味が無かった中国への関心が湧きました。

今の日本ではなかなか見れないダイナミズムを描いた内容であり、ビジネス書として同級生を代表して絶賛オススメさせて貰います。(52期 水原浩志 記)

#### 【目次】

- 第1章 「海底撈」とは何者か
- 第2章 稀代の戦略家で経営思想家
- 第3章 農村出身者のチャイナドリーム
- 第4章 海底撈の「変態級接客サービス」
- 第5章 日中共同プロジェクトで人も会社も進化する

#### 【山下 純氏(六甲52期)】

1976年生まれ。1999年京都大学法学部卒。同年、松下電器産業(現パナソニック)に入社。入社1年目に中国北京と広東省に社費留学し、中国語と広東語をマスター。以来、中国ビジネスの現場経験を積む。中国駐在は通算15年。2017年から2020年にかけて、火鍋チェーンの海底撈グループとの協業事業の立ち上げに参画し、合弁会社の初代総経理に就任。



## 『御船印でめぐる全国の魅力的な船旅 (地球の歩き方 御朱印シリーズ)』

編 著 地球の歩き方編集室

出版社 学研プラス

我々の大学時代には Google MAP などの地図アプリやスマホもなく、『Lonely Planet』若しくは『地球の歩き方』といったガイドブックが頼りになる旅のお供でした。

一方で、近年日本人の新たな趣味として定着しているのが、日本全国の寺社をめぐる「御朱印」。2006年、初めて御朱印をテーマにした書籍として『地球の歩き方 御朱印シリーズ』を販売開始。そして、御朱印集めの船版といえるのが、御船印。日本全国を船でめぐって集める「御船印」は、2021年4月に日本旅客船協会の公認プロジェクトとしてスタート。本書は『地球の歩き方 御朱印シリーズ』の新シリーズとして出された御船印めぐりプロジェクトとして初めてとなる公式本です。

北は北海道から南は沖縄までの全国50社を超える船会社の御船印自体の情報はもちろんのこと、船内での楽しみ方や航路マップまでをすべて網羅した構成となっております。コロナ禍で、日常生活への制約が様々な形で発生していた中、人と密に接さずに出来る旅の形の一つとして船旅が再注目されておりますが、「御船印」にもスポットライトが徐々に当たっているようです。

そんな御船印プロジェクトの事務局を担当するのが有限会社ディスクマイスターであり、同社代表である54期谷井氏。私個人は在学中には面識がなく六甲卒業後に彼が代表を務めるフットサルチーム「FC六甲」へ参加させて頂いたことを機に知り合いましたが、いつもチームを引っ張ってくれる頼もしいリーダーが、御船印を日本の新しい旅文化の一つとして根付かせてくれることを楽しみにしています。六甲時代の同級生との様々な旅から始まった旅好きの趣味が、時を経て、伯友のお陰で更に広がる幸せを感じます。是非、本書を手に取り、船の旅へ。(52期 水原浩志 記)

#### 【目次】

- 第一章 御船印の旅入門／御船印ギャラリー／御船印マスター制度／船旅の楽しみ方
- 第二章 離島クルーズ
- 第三章 長距離クルーズ
- 第四章 遊覧船 & 観光船
- 第五章 短距離クルーズ

【谷井 大介氏(六甲54期)】



1977年、兵庫県神戸市生まれ。六甲在学中にイタリア留学し、53期から54期へ。早稲田大学在学中の2001年に、Webシステムインテグレーション事業を行う有限会社ディスクマイスターを創業。2021年より、日本旅客船協会公認プロジェクトである御船印プロジェクトの事務局を担当。

【御船印プロジェクト】

<https://gosen-in.jp/>

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/135929>

【有限会社ディスクマイスター】



## 『最期の声 ドキュメント災害関連死』

著者 山川 徹

出版社 角川学芸出版

価格 4,180円 (税込)

「災害関連死」。

自分の45年以上の人生を通じて、様々な自然災害を実体験し、耳に目にしてきた中でも、余り意識して来なかった言葉。こちらの本は、その災害関連死について、ノンフィクションライターである著者が10年にわたる丁寧取材に基づき、綴った珠玉のノンフィクションでした。そして、そのメインパートに六甲54期である在間弁護士が登場します。

東日本大震災、熊本地震、新潟県中越地震など阪神・淡路大震災以降の国内の災害で災害関連死とされた人の数は5千人以上。今まで存在すら知らなかったこれらの方々について少しずつ知る中で、近年の日本を根底で分断しているかも知れない「自己責任」「自助・共助・公助」「財政」「大きな政府・小さな政府」に関する考えに行き当たるように思いましたが、こちらで紹介されている通り、自然災害の多い日本に暮らす私たちは、誰もが被災者になり、命を落とす可能性



があることをまずは、大前提において話を進めます。(謂わば、「明日は我が身」の分野ともいえます)

そうした中、避難中のエコノミークラス症候群、転院移動後の死、鬱を患っての自死、復旧に奔走した末の急性くも膜下出血などの事態 (=その行きつく先としての災害関連死) に対して、「災害と関連していたのかどうか」「それを何を基準にするのか」「誰が判断するのか」「どんな支援があれば命を救うことができるのか」について問題をこれでもかと投げかけてきます。(日本という国が極めて貧しくなっている現状は、ここでは、一旦横に置いておきます)

そして、この手の話題をマスコミが扱う場合、すぐに、「政府の無作為」「大企業の横暴」と安易なほどに対立関係に置くことが多く、いつも辟易してしまいましたが、こちらを読み、遺族、そして、それを取り巻く存在として、弁護士、医師、行政関係者、研究者などの人々が災害関連で亡くなった人たちの「最期の声」と捉えて、「次に来る災害の教訓にしよう」としている人たちがいることを知れました。(学ばないと、未来は訪れない)

自分には、なかなか出来ることではないですが、今の目の前にある仕事に向き合い、カネを稼ぎ、納税し、そのお金が少しでも、この手の公助の仕組みに回るので有れば、働く意味はありますし、また、出来ることは少なくとも、微力でも全力を尽くしたいと再認識させられました。

伯友の著書ではありませんが、後書きでも明言され、在間さんが著者に書きかけを与え、その活躍を称えられていることから、こちらでご紹介させて頂きました。在間さん、どうか、お体に気を付け、益々の活躍を。そして、いつの日にかお目にかかる日を楽しみにしております。

(52期 水原浩志 記)

### 【目次】

序章 災害支援の原点一羽越豪雨

第1章 碑に刻まれる名一阪神・淡路大震災

第2章 津波のおそうあと一東日本大震災

第3章 死の基準一東日本大震災

第4章 災害と自死一阪神・淡路大震災／東日本大震災

第5章 申請主義と自己責任論を超えて一東日本大震災

終章 救われる命一北海道南西沖地震／新潟県中越地震／東日本大震災／熊本地震／北海道胆振東部地震

### 【山川 徹氏】

1977年、山形県上山市生まれ。東北学院大学法学部、國學院

## 株式会社 カーニバル

代表取締役社長 平田昌義 (28期)

(親不知の会 No.5)

## 頑張ろう六甲 OB

渡部賢一 (28期)

(親不知の会 No.2)

大學文学部2部卒業。在学中より『別冊東北学』（作品社）の編集に携わり、大学卒業後にフリーライターとなる。『国境を越えたスクラム——ラグビー日本代表になった外国人選手たち』で第30回ミズノスポーツライター賞を受賞。

【在間 文康氏（六甲54期）】

1978年、兵庫県西宮市生まれ。2005年、京都大学法学部卒業、2007年、東京大学法科大学院修了。2009年に弁護士登録し、アストリア法律事務所（東京都新宿区）に入所。2012年、岩手県陸前高田市にて、いわて三陸ひまわり基金法律事務所（公設事務所）を新規開設し、初代所長として執務。2016年に「弁護士法人 空と海」を開設、現在は東京事務所勤務する。



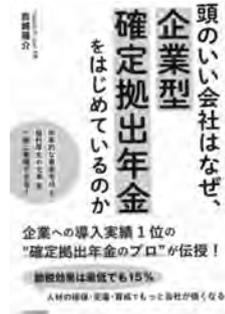
## 『頭のいい会社はなぜ、企業型確定拠出年金をはじめているのか』

著者 岩崎 陽介（62期）

出版社 青春出版社

価格 1600円（税込）

企業型確定拠出年金導入は、効率的な資産形成と、福利厚生の実現を一挙に実現できる経営戦略です。経営者の方は必読の書です。



## 編集後記

先日、私の息子の大学で、3年ぶりに学園祭がリアルで実施されました。ただ、入場者の制限があり、学生の家族や高校生が事前登録する必要がありましたが、多くの方がマスクをして集まった学園祭に参加してきました。現在3回生が指揮をすることになっているようで、今の3回生はリアルの学園祭は初めての経験のため、慣れないことも多く、大変そうでした。雨が降ったらどうするか等トラブル発生に対して実際にやってみて、いろんな経験を積み、成長していく事を見ながら、このような事を2年間ストップしていたのかと、改めて考えさせられました。六甲もしかり、いろんな教育現場で、with コロナについて真剣に考えて欲しいですね。（39期・樋口）

前の委員長だった久保先輩が、「3期9年やったから、そろそろ替わって欲しい」と仰った時、えらい長い間務められたんだなぁと驚いたのですが、気が付いたら自分も同じ期間を

委員長として過ごしていました。就任当初は1期で替わることを目標にしていたのですが、今回なんとか後任を見つけることが出来たので、前委員長に倣うことができそうです。次の委員長は、独自の色を出してくれると思いますので、変化を楽しんでいただけたら幸いです。（42期・松下）

来年の懇親会は幹事期の55期卒業生達が我々50期以来の5年ぶりに学校で開催をするということで非常に嬉しく期待している。5年前の「六甲大祭り」と題したイベントで55期委員長の戸田君もスタッフとして手伝ってくれていた。それがこういう形で実を結んだのではないかと思っている。毎年幹事期になる年齢は43歳ぐらいでみんなそれぞれ家庭であったり仕事であったり悩みの多い時期だと思う。そんな時に昔の仲間と一緒に一つのイベントを作るということは仕事や家庭との両立は大変なのだが、その後の人生を考えると非常に大切な意味を持つと思う。その後ももう一度集まりが増えたり、卒業後20年以上経った時期に改めて「六甲とは何か？」を考える機会にもなる。今の自分を作っている一部は六甲で培われたのだと気づく。あの頃から立場も時代も変わってはいるが、そんな時にもう一度「六甲」を考える機会を与えてくれる、いい慣習だと感じている。いつまでもこの慣習が慣例となり、この年齢になって改めて「六甲」の大切さに気づく卒業生が増えていくことを願う。

（50期 藤枝 誠）

仕事が印刷に関わっていたことから長年編集に携わって来ました。しかし最近は編集会議に顔を出し、校正が送られてきたときに手伝いをするくらいで実際の作業には携わっていません。買ってくれる人がおられたら売るくらい時間はあるのに。会議にお声がけいただくのが堪らなく嬉しく、リモートやSNSで世の中が進んでいくのがなんとなく空しいと思っています。同窓会は顔を会わせて無駄と思える雑談も交え先輩後輩が時間を共有するところを楽しみがあり存在意義があると思うのは、老人のノスタルジーに過ぎないのでしょうか。（20期・宇都宮光）

松下さんに言われて、副委員長をやって、9年がたとうとしています。副委員長らしいことはたいして出来ずに終わってしまって申し訳ないと思います。

新しい委員長、副委員長の下で、広報委員会が新たに門出することを祝いたいと思います。

楽しくやってこれたことに、委員の皆様へ感謝します。今後は、一委員としてその発展を支えられればと思います。（42期・森下秀明）



## 会員の皆様へ

### ■会誌「伯友」秋号の発送について

伯友会の会誌「伯友」の春号は会員全員に、秋号は会費納入者で秋号の送付を希望される方と、六甲学院を卒業後4年間に該当する方、全員に送付いたします。

広報委員会では、情報提供をホームページ等を通じて会員サービスの向上を諮っております。ご意見・ご質問・ご要望等ございましたら、伯友会事務局までご連絡下さい。

尚、秋号送付を追加で希望される方は事務局までお申し出下さい。

### ■会費納入のお願い

会員には会費の納入義務があります。会費は伯友会にとって重要な収入であり、伯友会運営にとって貴重な財源です。未納の方は是非とも納入して下さい。

〒 657 - 0068

兵庫県神戸市灘区篠原北町 1 - 8 - 25

伯友 太郎 様

(〇〇-〇〇-〇〇)

期 学年での 会費納入  
番号 状況

宛名ラベルの見方：あなたの会費が何年度分まで納められているかは、宛名ラベルに記載されています。もしあなたが終身会員であれば、会費納入状況は『終身』となっています。2022年度分まで納入済みの方は『2022』となっています。

また、会費納入実績がない場合は記載がありません。

年会費：伯友会年会費は3,000円です。会費未納期間が3年以上ある場合は、2年前に遡り本年度分を含めて3年分納入いただきます。

終身会費：終身会費は45,000円です。既に半数以上の会員が終身会員になっています。終身会員になると年会費の納入の必要がなく、毎年会費を納入する煩わしさもなくなります。また、過去の未払いの年会費を遡って徴収することはありませんので、終身会員になられることをお勧めしています。なお、今年度以降の会費を納入済みの方にはその分を45,000円から差し引かせていただきます。

### ■伯友基金について

伯友基金は六甲学院の教育活動と社会奉仕活動のために使用する目的で平成5年に設立された基金です。第3運動場のナイター照明もこの基金を利用して設置されました。

また、基金の一部から東ティモール聖イグナチオ学院奨学金プログラムの協力もしております。

### ■伯友奨学基金にご協力を

六甲学院からの要請を受け、「伯友奨学基金」を設立しました。昨今、学費に困窮する学生が増え、大学生の二人に一人

人が約300万円の負債を負って社会に出るのが日本の現状となっています。また、長引くコロナ禍によりアルバイトなども制限され、収入の道を閉ざされた人たちも増えております。六甲学院も決して例外ではなく、奨学金を必要とする学生が年々増加しております。“家庭の経済的理由で六甲を去らねばならない後輩をひとりも出したくない”という思いで設立された奨学基金です。

伯友会からの奨学金として、年間約50万円の授業料相当分を一人もしくは二人に給付していくことを目標としており、これからも継続的な積み立てが必要です。引き続き基金へのご協力をよろしくお願いいたします。

\*ご入金の際には必ず期・氏名をメール又はFAXで事務局までお知らせください。

\*寄付者のお名前は会誌の春号に掲載されます。匿名希望の方は併せてお知らせください。

10期生の皆様は同期会開催後の残金を、次回の開催金にされていましたが、高齢となり同期会の開催を止めることとし、残金を寄付いただきました。

12期生は同期生の為の基金を創設していますが、その中から伯友会の為に寄付をいただきました。

両期の皆様に感謝申し上げます。

### ■伯友会事務局からのお知らせ

伯友会事務局執務時間は年末年始とお盆の頃を除いて原則的に月・水・金曜日のP.M.1:00~P.M.5:00迄です。ご用件の内容によっては、即答出来ない場合もありますが、必ず調べた上お答え致しますので、ご遠慮なくご連絡下さい。

#### 伯友会会費の納入は

- 三井住友銀行六甲支店 (421)  
口座番号 (普通) 1103520 口座名 六甲伯友会
- 郵便振替  
口座番号 01110 - 8 - 73016 口座名 六甲伯友会

#### 伯友基金への振込は

- 三井住友銀行六甲支店 (421)  
口座番号 (普通) 3692900 口座名 伯友基金

#### 伯友奨学基金への振込は

- 三井住友銀行六甲支店 (421)  
口座番号 (普通) 4513835 口座名 六甲伯友会奨学金

#### 伯友 81 号

発行日 2022年12月12日  
発行人 藤本久俊  
編集 広報委員会  
印刷 (株)学術出版印刷  
構成 久井千岳

#### 伯友会事務局

〒 657-0068  
神戸市灘区篠原北町1丁目8番25号  
六甲学院生徒研修所内  
TEL.078-861-6588 FAX.078-861-6573  
E-mail office@hakuyu.jp  
ホームページ: www.hakuyu.jp



# 伯友

2022. 12 No.81

- 発行人 藤本久俊
- 編集広報委員会

## 伯友会事務局

〒657 神戸市灘区篠原北町1丁目8番25号  
-0068 六甲学院生徒研修所内  
TEL 078-861-6588, FAX 078-861-6573  
Eメール: [office@hakuyu.jp](mailto:office@hakuyu.jp)  
ホームページ: [www.hakuyu.jp](http://www.hakuyu.jp)